

IXIL サイクルポート AS-D型

単独・基本・連棟・Y合掌・輪止め・スマート雨樋 取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補足

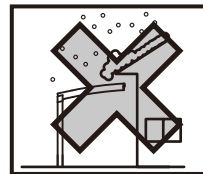
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・自転車置き場の日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。
 - ※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ※建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。



お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・建築基準法による設置の場合は、設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- ・コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- ・モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- ・製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水漏れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリングを行なう場合、ポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング剤を使用してください。
- ・AC100V電線の埋設工事、配線作業については電気工事店の有資格者に依頼してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にはゆるみがないか確認してください。
 - ※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m ※M6ボルト：12.0N・m±0.5N・m
 - ※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m ※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン	トスシール380
東レ・ダウコーニング	SE960

お願い

- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<施工の後に>

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。

お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

■ 棚包明細表	4	■ Y合掌の施工	21
■ 各部の名称	7	■ 姿図	21
■ 基本の施工	8	1 基礎の墨出し	22
■ 姿図	8	2 柱連結金具の取付け	23
1 基礎の墨出し	9	3 合掌棟木の取付け	24
2 柱の建て込み準備	10	4 Y合掌端部キャップの取付け	25
3 柱、梁の組立て	10	5 Y合掌連棟カバーの取付け	25
4 前枠の取付け	12	■ 輪止めの施工 OP	26
5 母屋・後枠の取付け	12	■ 姿図	26
6 本体の連結	13	1 基礎の墨出し	26
7 部材の加工	15	2 取付け下穴寸法	27
8 側枠の取付け	16	3 輪止めパイプキャップの取付け	27
9 対角の確認	18	4 輪止めパイプ、小口キャップの取付け	28
10 垂木の取付け	18	5 連棟部の組立て	28
11 屋根材の取付け	19	■ スマート雨樋の施工 OP	29
12 側枠カバー・垂木カバーの取付け	19	■ 構造図	29
13 縦樋の取付け	20	1 部材の加工	30
		2 縦樋の組立て	31
		3 縦樋の取付け	32

表示マーク



「縦連棟」を施工する場合



Y合掌を施工の場合

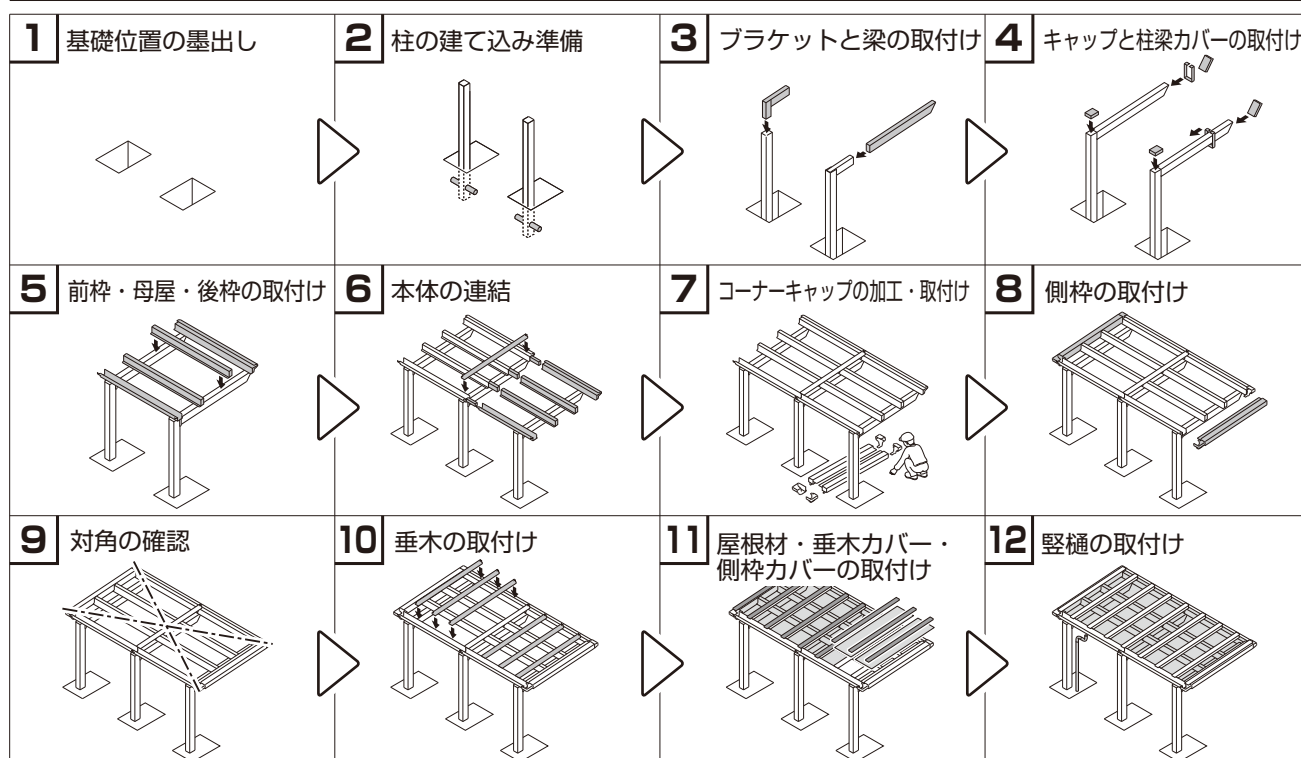


オプション製品



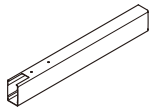
シーリング箇所

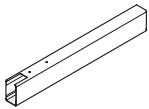
施工の流れ

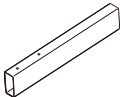


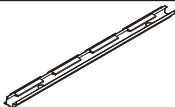
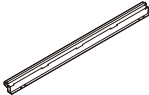
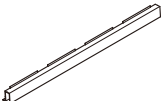
梱包明細表

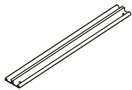
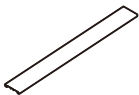
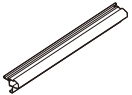
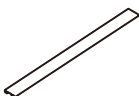
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

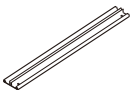
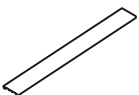
【1】標準柱セット		員 数	
名 称	略 図	1本入	2本入
標準柱		1	2

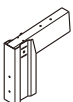
【2】ロング柱セット		員 数	
名 称	略 図	1本入	2本入
ロング柱		1	2

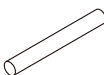
【3】梁セット		員 数	
名 称	略 図	1本入	2本入
梁		1	2

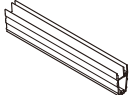
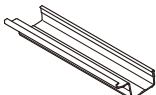
【4】長さセット		員 数			
名 称	略 図	単 独	右端部	左端部	連棟
後枠		1	1	1	1
前枠		1	1	1	1
母屋		2	2	2	2

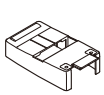
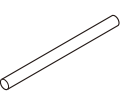
【5】幅セット		員 数
名 称	略 図	
垂木		3
垂木カバー		3
側枠		2
側枠カバー		2

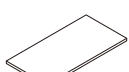
【6】連棟幅セット		員 数
名 称	略 図	
垂木		4
垂木カバー		4

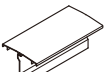
【7】ブラケットセット		員 数	
名 称	略 図	1本入	2本入
ブラケット		1	2

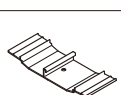
【8】縦樋セット		員 数
名 称	略 図	
縦樋		1

【9】 部品セット		員 数	
名 称	略 図	標準	連棟
母屋スリーブ		—	2
前枠スリーブ		—	1
後枠スリーブ		—	1
ドレンエルボ		1	1
92° エルボ		2	2
でんでん		3	3
雨樋アタッチメント		1	1
雨樋パッキン		3	2
雨樋穴ふさぎキャップ		2	1
後枠コーナーキャップ		左右各1	—
接着剤		1	1

【9】 部品セット (つづき)		員 数	
名 称	略 図	標準	連棟
前枠コーナーキャップ		左右各1	—
柱キャップ		2	1
柱梁カバー		2	1
梁キャップ		2	1
φ8×200アンカー棒		2	1
穴隠しシールφ10		20	10
雪下ろし指示シール		1	—
【9-1】 M8×20六角ボルト PW (緩み止め付)		14	7
【9-2】 φ4×13 ナベドリルネジ		3	35
【9-3】 φ5×12トラス タッピンネジ3種		189	146
【9-4】 φ5×13 ナベドリルネジ		20	16
取扱説明書〈UE097〉	—	1	—
取付説明書〈E411〉	—	1	—

【10】 屋根材セット		員 数	
名 称	略 図	2枚入	4枚入
屋根材 (ポリカーボネート)		—	4
屋根材 (FRP板)		2	—

【11】 Y合掌セット		員 数
名 称	略 図	
Y合掌棟木		1

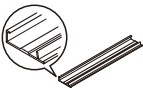
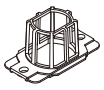
【12】 Y合掌部品セット		員 数	
名 称	略 図	標準	連棟
Y合掌用柱連結金具		2	1
Y合掌固定金具		3	3
Y合掌連棟力バー		—	1

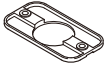
【12】 Y合掌部品セット (つづき)		員 数	
名 称	略 図	標準	連棟
Y合掌端部キャップ		2	—
【12-1】 φ4×20トラス タッピンネジ2種		4	—
【12-2】 φ4×13 ナベドリルネジ		3	5

【13】 輪止めパイプセット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
輪止めパイプ		1

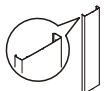
【14】 輪止め束柱セット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
輪止め束柱		1

【15】 輪止め部品セット (オプション)		員 数	
名 称	略 図	標準	連棟
輪止めブラケットA (本体柱用)		2	2
輪止めブラケットB (束柱用)		1	1
輪止めブラケットプレート		3	1
輪止めパイプキャップ		2	2
小口キャップ		11	9
接着剤		1	1
φ50用Uボルト		3	3
【15-1】 M6×65六角ボルト		2	2
【15-2】 M6×110六角ボルト		4	2
【15-3】 M6用六角ナット		12	10
【15-4】 M6用バネ座金		18	14
【15-5】 M6用平座金		18	14

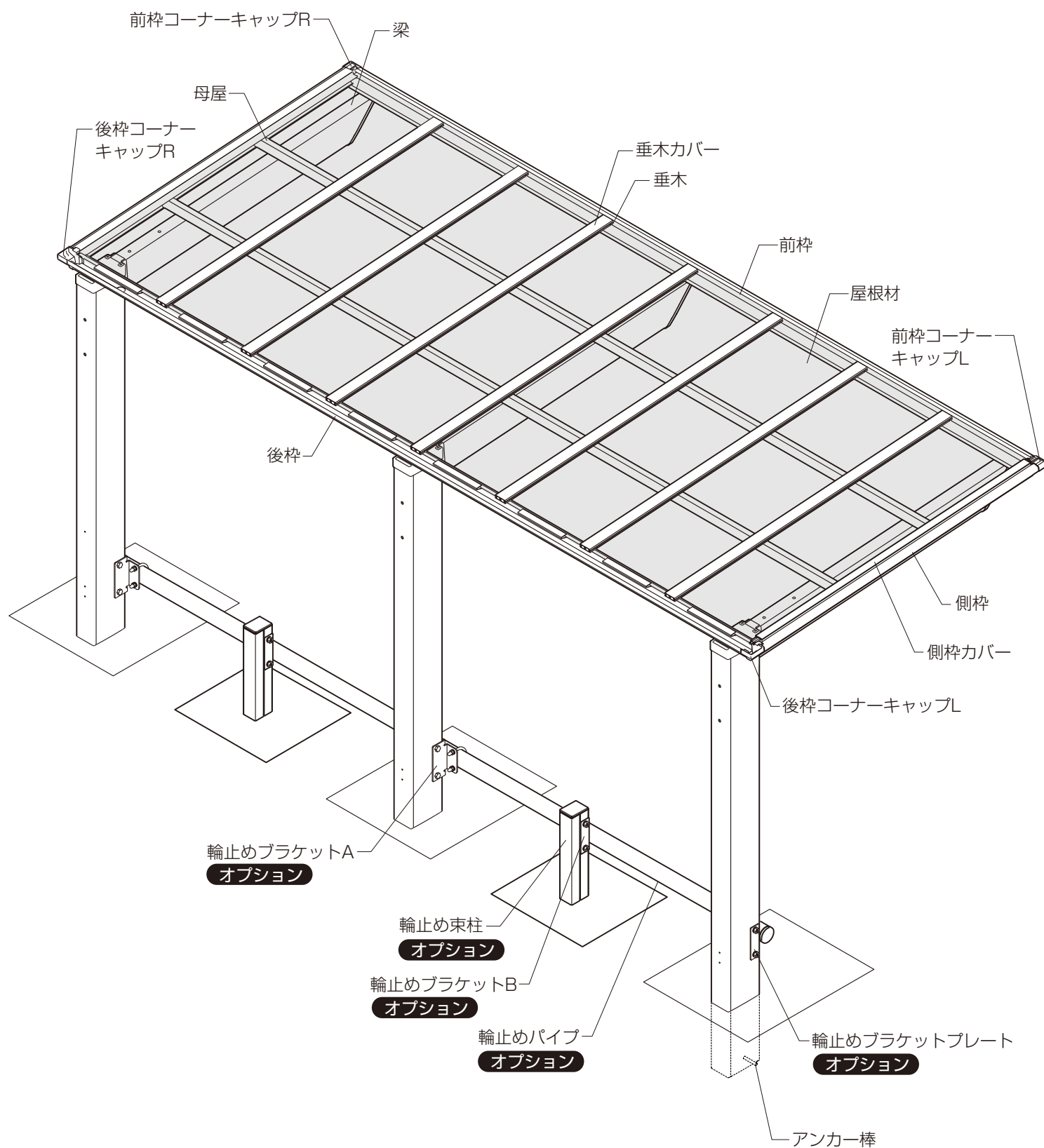
【16】 スマート雨樋部品セット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
横樋アタッチ (※)		1
上部雨樋部品		1
雨樋ドレイン		1
横樋アタッチ端部キャップ (※)		1

【16】 スマート雨樋部品セット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
下部排水受け		1
穴塞ぎキャップ (※)		1
【16-1】 φ4×16ナベドリルネジワッシャー付		12
【16-2】 φ4×40ナベタッピンネジ2種		4
【16-3】 φ4×6薄バインドタッピンネジ3種		3
【16-4】 φ4×12ナベタッピンネジ 3種		2
取付説明書 <D608> (※)	—	1

(※) 印の部品、取付説明書は使用しません。

【17】 スマート雨樋セット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
縦樋		1
縦樋カバー		1

各部の名称



基本の施工

姿図

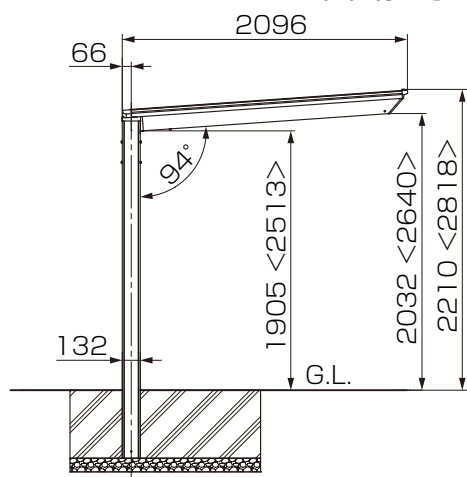
お願い

- ・構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- ・柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

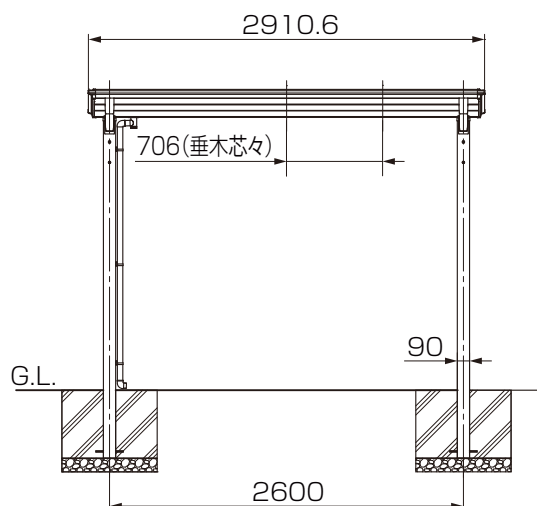


【Y合掌】はP.21を参照してください。

□ 側面図 ※<>はロング柱仕様を示します。



□ 単独 28型 正面図



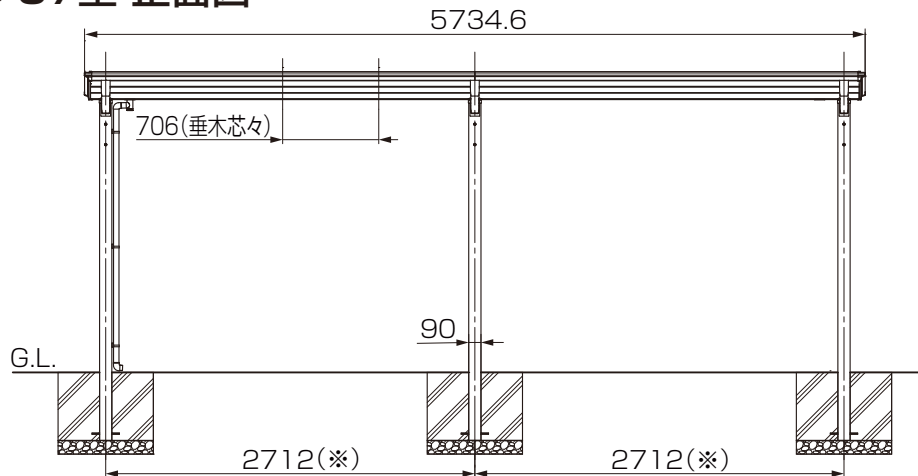
お願い

- ・単独28型は屋根の切詰めはできません。
- ・屋根の切詰め加工は連結部で行ないます。



P.15を参照してください。

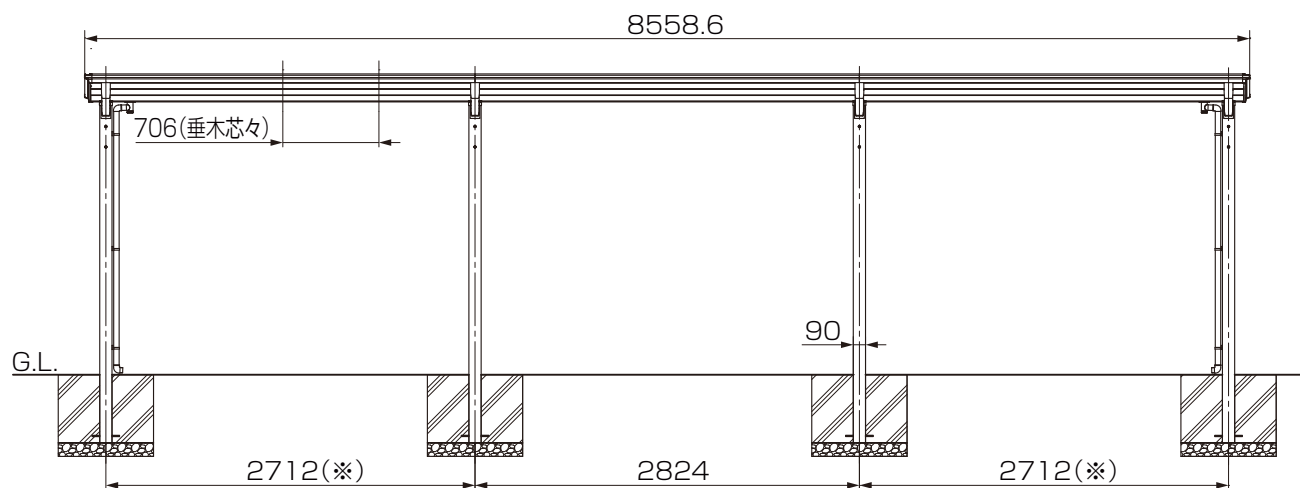
□ 基本 57型 正面図



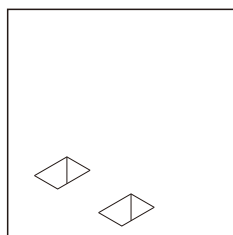
補 足

屋根を切詰めた場合は、柱ピッチ(※)が変わります。

□ 連棟 57+ (28×1) 型 正面図



1 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



【Y合掌】はP.22を参照してください。

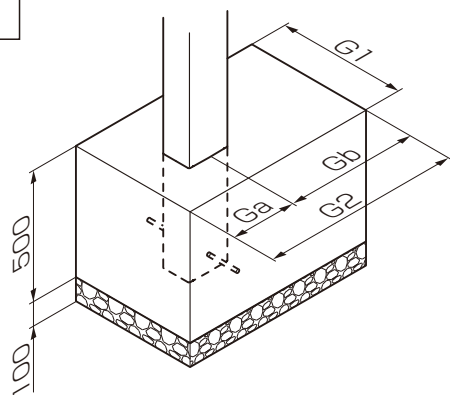


下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

【カーポートライト】

「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」

「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」

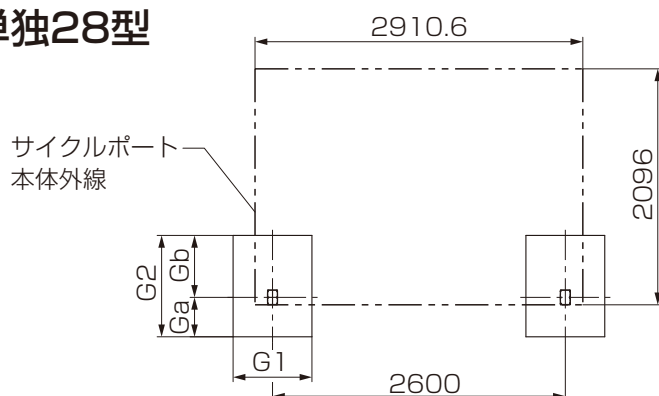


		G1	G2	Ga	Gb
標準柱	単独28型	700	900	350	550
	基本57型・連棟	800	1400	450	950
ロング柱	単独28型	800	1000	400	600
	基本57型・連棟	800	1500	450	1050

補 足

基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²の時の参考寸法です。

□ 単独28型



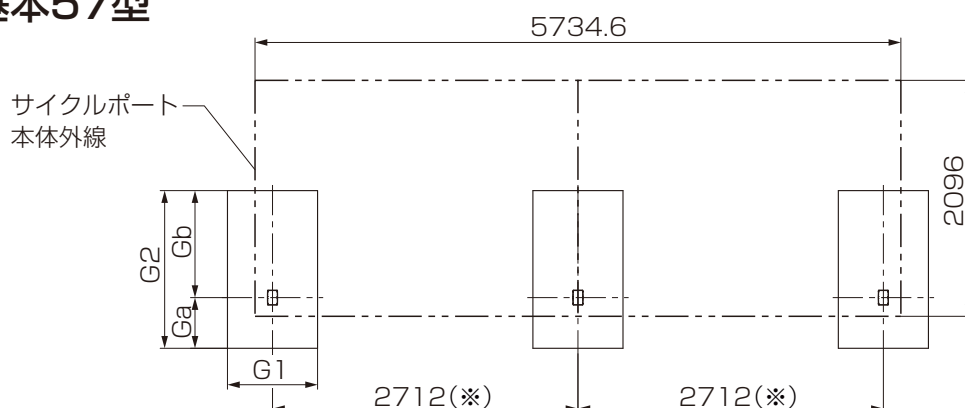
お 願 い

- ・単独28型は屋根の切詰めはできません。
- ・屋根の切詰め加工は連結部で行ないます。



P.15を参照してください。

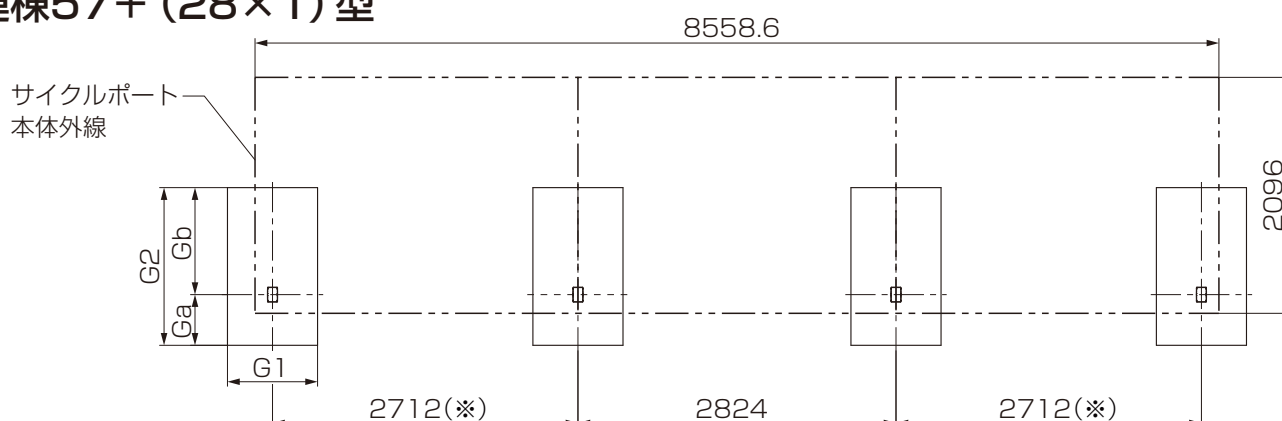
□ 基本57型



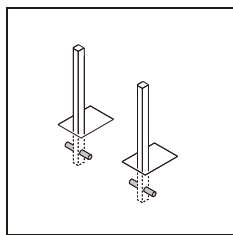
補 足

屋根を切詰めた場合は、柱ピッチ(※)が変わります。

□ 連棟57+ (28×1) 型



2 柱の建て込み準備



- ①アンカー棒を柱に差込んでください。
- ②柱のG.L.付近（地上側）にφ6水抜き穴をあけてください。

補 足

コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木などをしてください。

⚠ 注意

水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

アンカー棒

お 願 い

柱の垂直を確認してください。

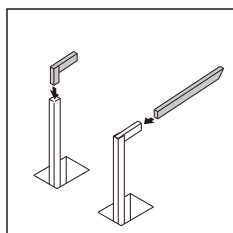
水準器

φ6
水抜き穴

15
G.L.

3 柱、梁の組立て

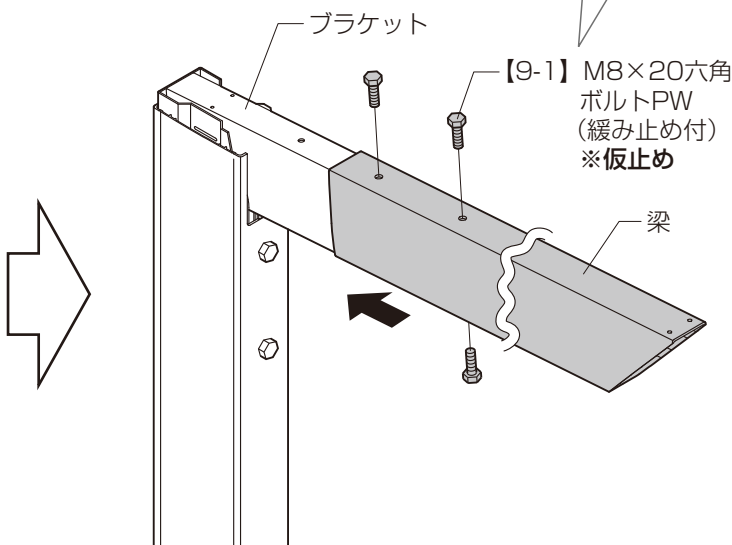
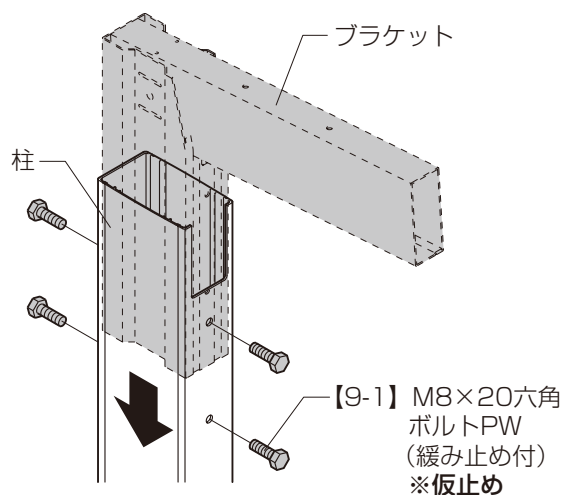
1 ブラケットと梁の取付け



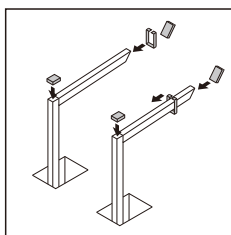
- ①ブラケットを柱に差込み【9-1】で仮止めしてください。
- ②梁をブラケットに差込み【9-1】で仮止めしてください。

お 願 い

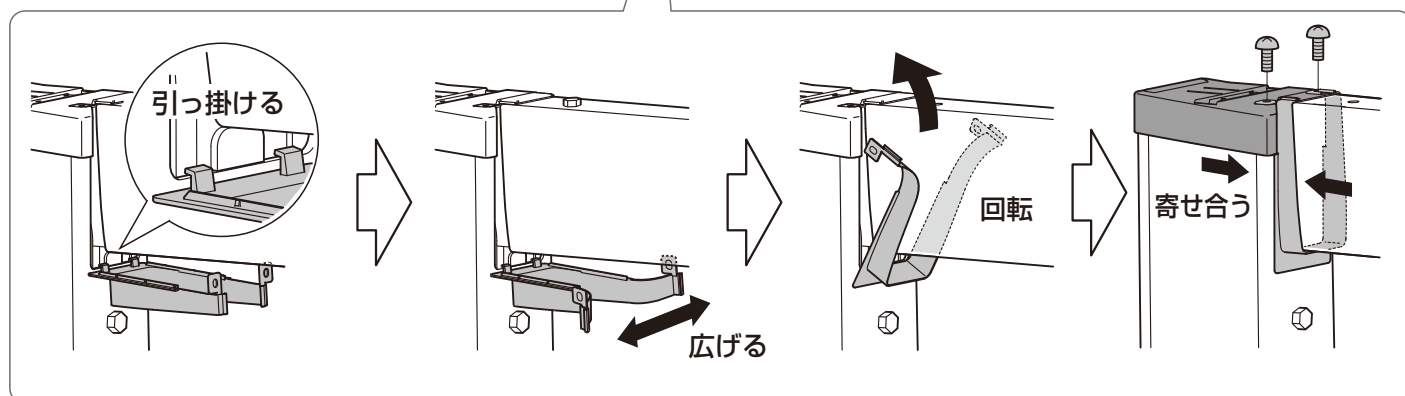
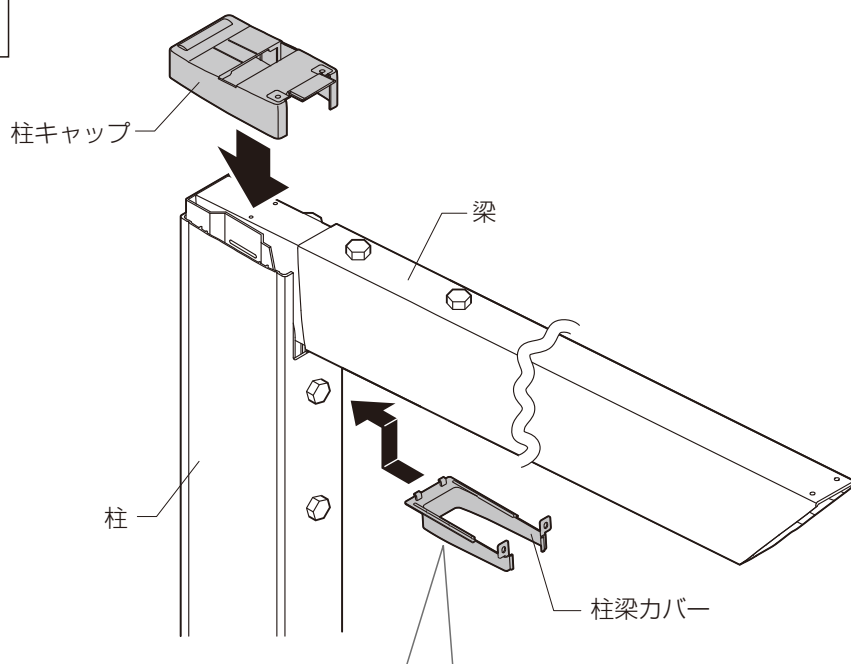
緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。
(締付け後、約24時間で硬化します。)



2 柱キャップ、柱梁力バー、梁キャップの取付け



- ① 柱キャップを柱にはめ込んでください。
- ② 柱梁力バーを柱の切欠き部にはめ込んでください。
- ③ 柱梁力バーを柱キャップに【9-3】で取付けてください。
- ④ 梁キャップにシーリングをし、梁に梁キャップをはめ込んでください。
- ⑤ 仮止めしていた【9-1】を本固定してください。



【9-3】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

柱キャップ

【9-1】M8×20六角
ボルトPW
(緩み止め付)
※本固定

梁

柱

【9-1】M8×20六角
ボルトPW
(緩み止め付)
※本固定

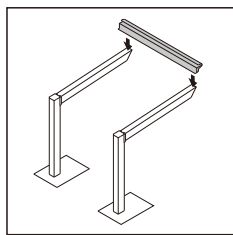
シーリング

梁
キャップ

補 足

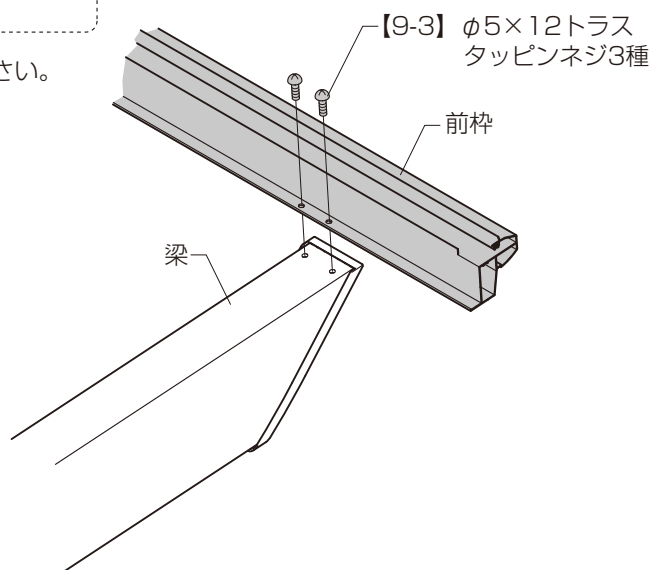
この段階では、柱キャップ・
柱梁力バーは多少ガタツキます。

4 前枠の取付け

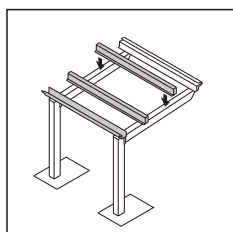


【現場切詰め】の場合はP.15も事前に確認してください。

①前枠を梁に【9-3】で取付けてください。



5 母屋・後枠の取付け



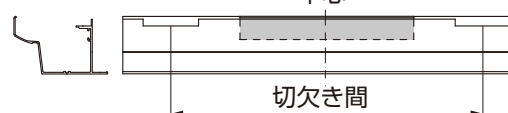
【現場切詰め】の場合はP.15も事前に確認してください。

①後枠をブラケットに【9-3】で取付けてください。

②母屋を梁に【9-3】で取付けてください。

お願い

パネル受けを下図の位置に移動させてください。



【9-3】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

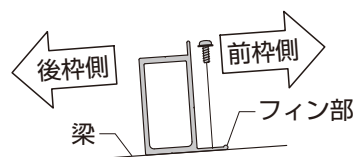
後枠

【9-3】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

母屋

お願い

母屋のフィン、前枠側に向けてください。



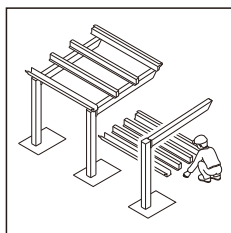
6 本体の連結

1 連結部の加工



【縦連棟】の場合の作業です。

※単独タイプ 28型の場合、この作業は不要です。

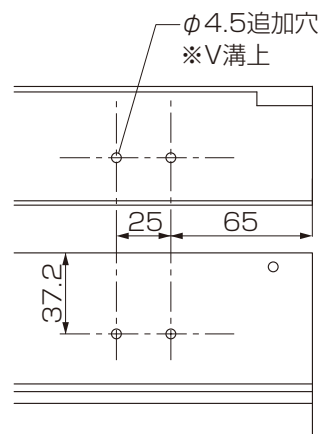
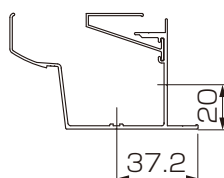
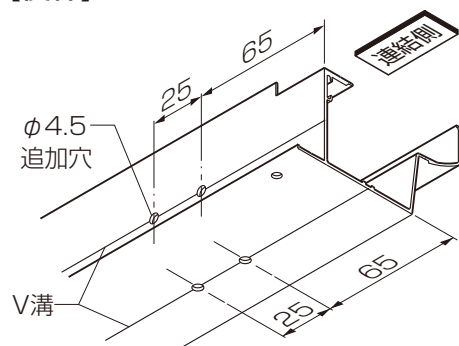


①後枠・前枠・母屋の連結側のV溝にφ4.5の追加穴をあけてください。

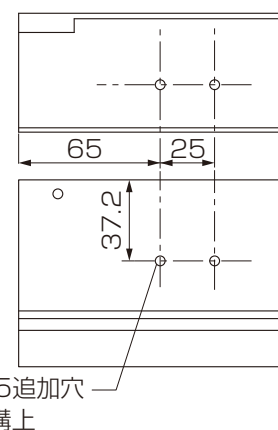
補 足

- ・下穴をあげずに取付けると、ネジが破損するおそれがあります。
- ・切詰める場合はP.15を参照してください。

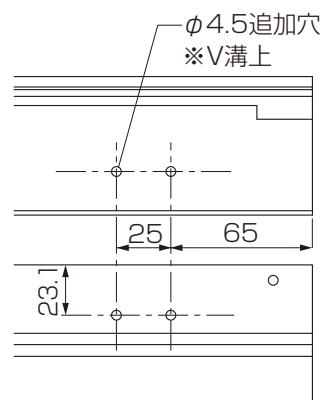
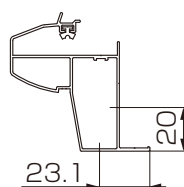
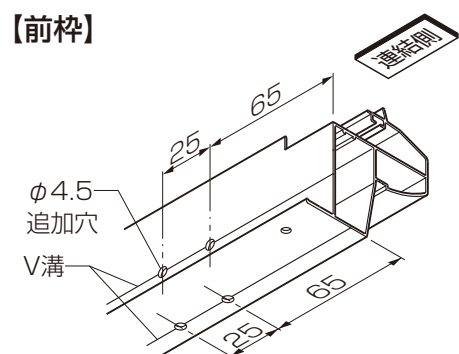
【後枠】



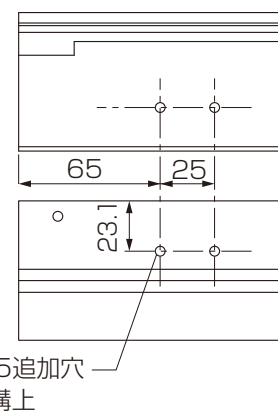
連結部



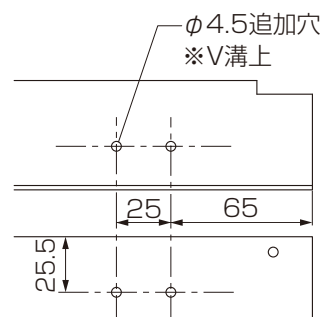
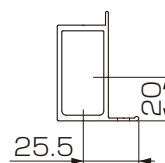
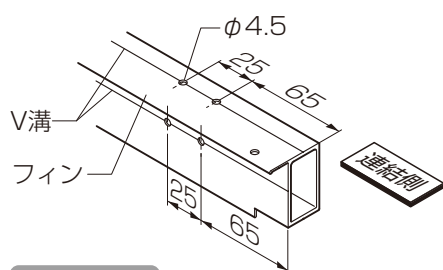
【前枠】



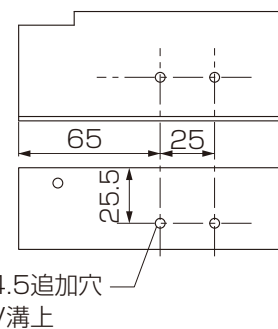
連結部



【母屋】※下図は母屋を下面から見たイラストで示しています。



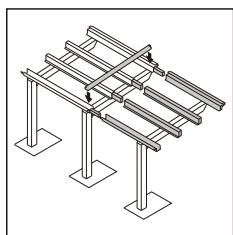
連結部



補 足

側面の穴加工はフィン側にしてください。

2 連結部の取付け



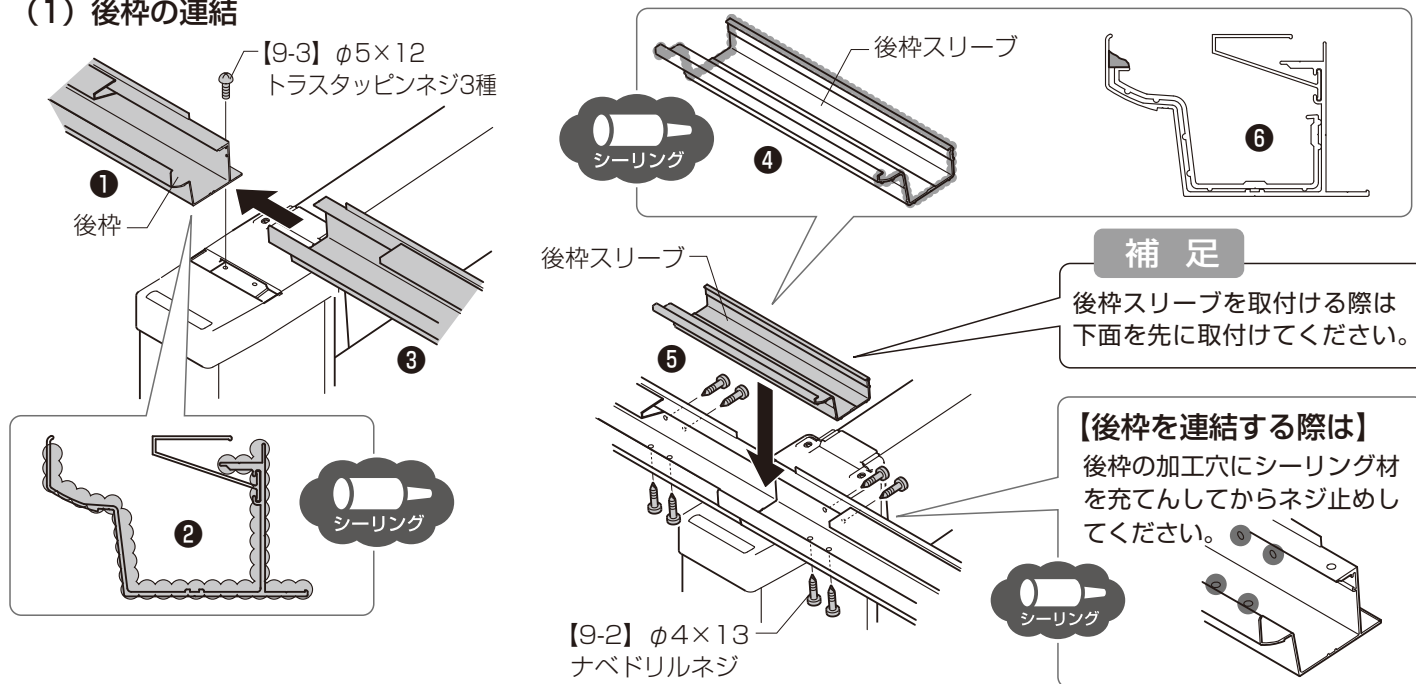
【後枠の連結】

- ①後枠をブラケットに【9-3】で取付け、シーリングをしてください。
- ②もう一方の後枠をブラケットに取付けてください。
- ③後枠スリーブにシーリングし、後枠スリーブを後枠に【9-2】で取付けてください。
- ④後枠と後枠スリーブの接合部にシーリングをしてください。

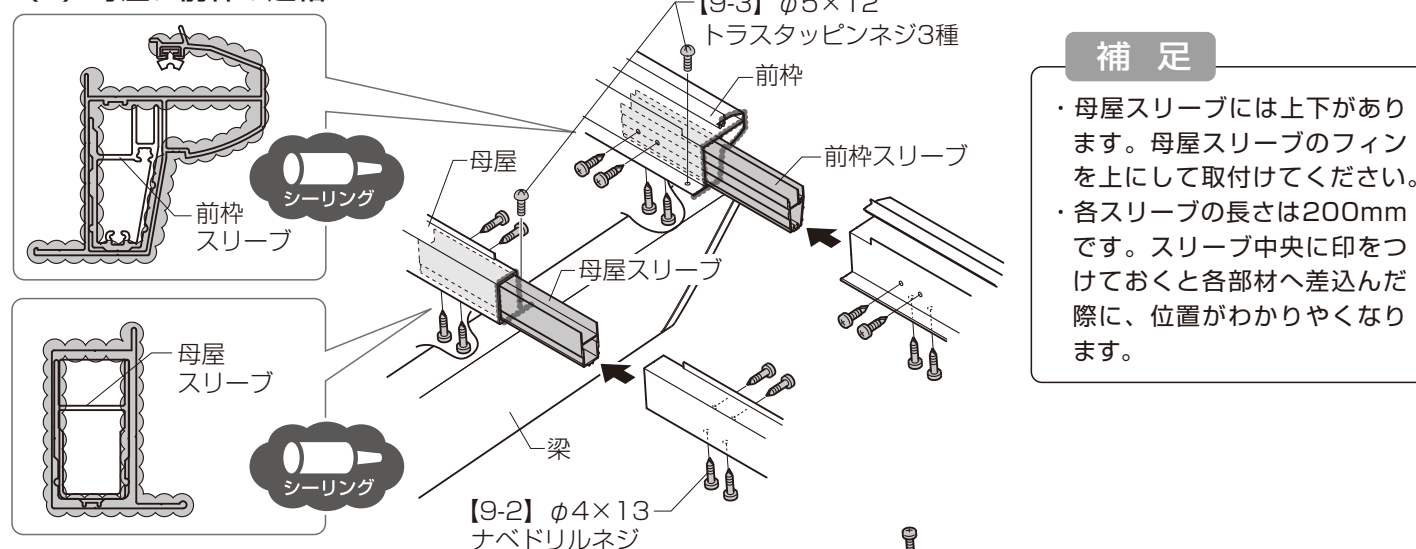
【前枠・母屋の連結】

- ①前枠と母屋を梁に【9-3】で取付け、シーリングをしてください。
- ②各スリーブを前枠と母屋に差込み、【9-2】で取付けてください。
- ③もう片方の前枠と母屋を各スリーブに差込み、【9-2】で取付けてください。
- ④はみ出たシーリング材を処理してください。

(1) 後枠の連結

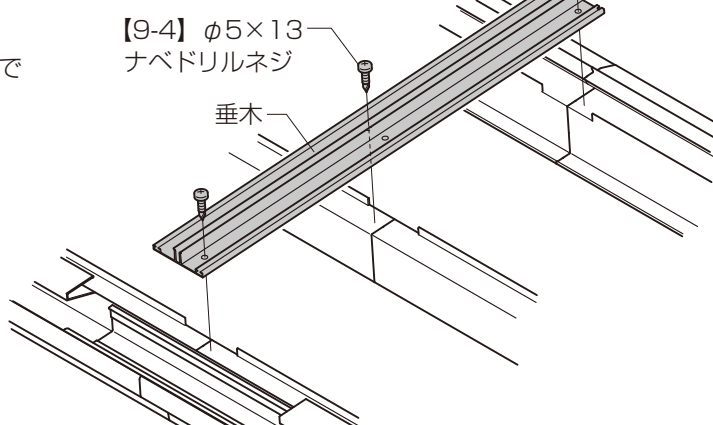


(2) 母屋、前枠の連結



(3) 垂木の取付け

- ①連結部に垂木を【9-4】で取付けてください。



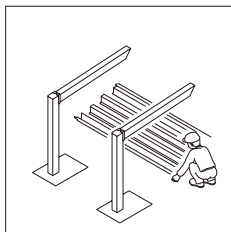
お願い

取付け時に付着した切粉などは取除いてください。

7 部材の加工



【縦連棟】で【現場切詰め】した場合の作業です。

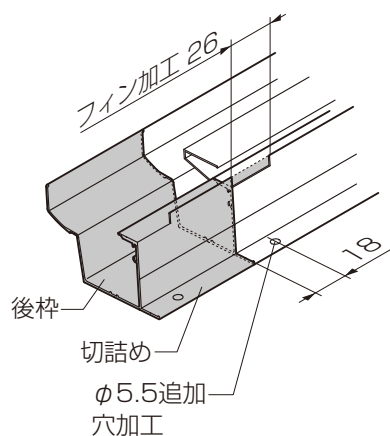
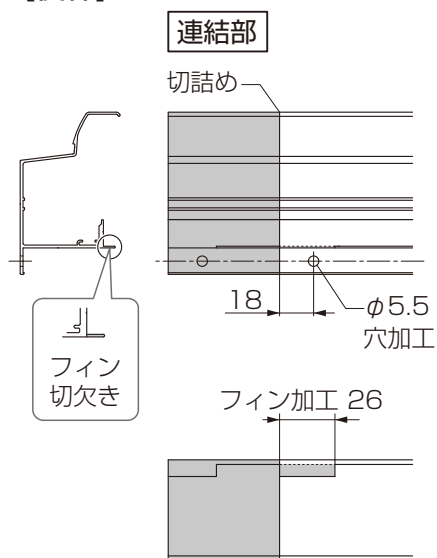


- ①切詰め部を切断加工してください。
- ②φ5.5穴加工をしてください。
- ③フィン部を切欠き加工してください。

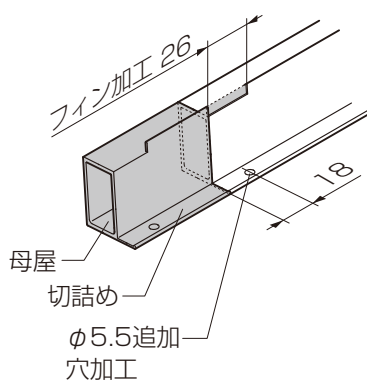
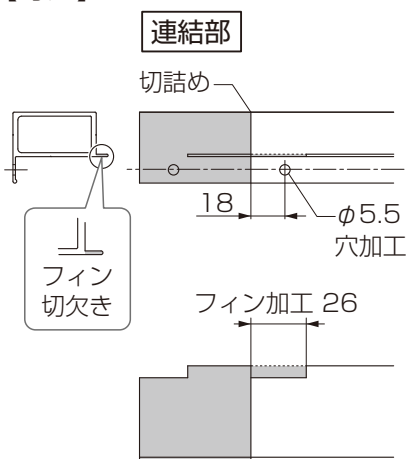
お願い

- ・単独28型は切詰めできません。
- ・切詰め加工は連結部で行なってください。

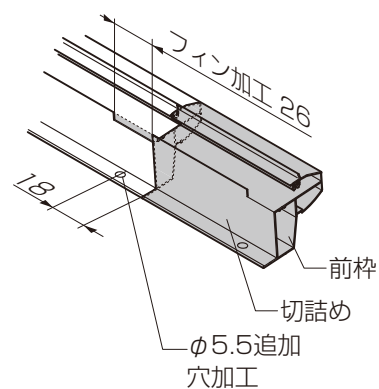
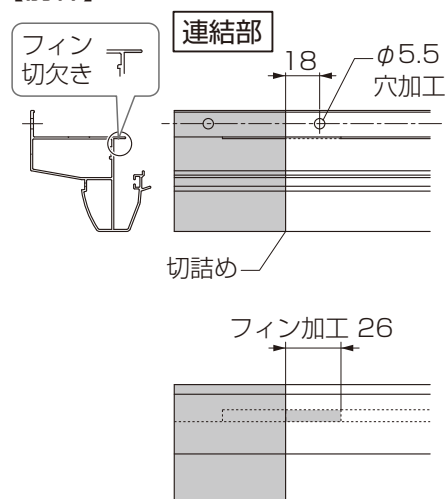
【後枠】



【母屋】

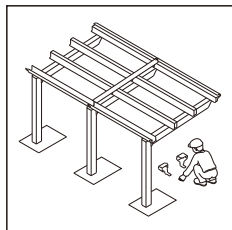


【前枠】



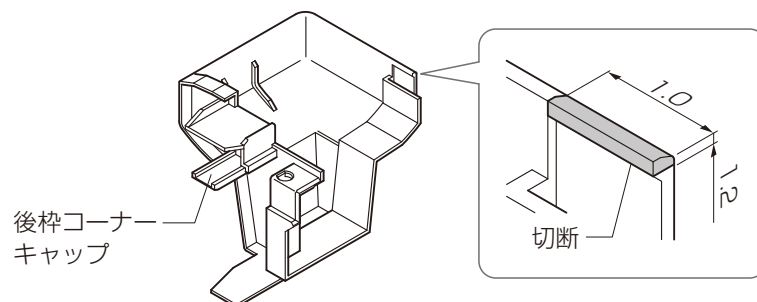
8 側枠の取付け

1 コーナーキャップの加工

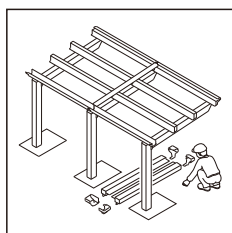


【Y合掌】の場合の作業です。
【基本】の場合、この作業は不要です。

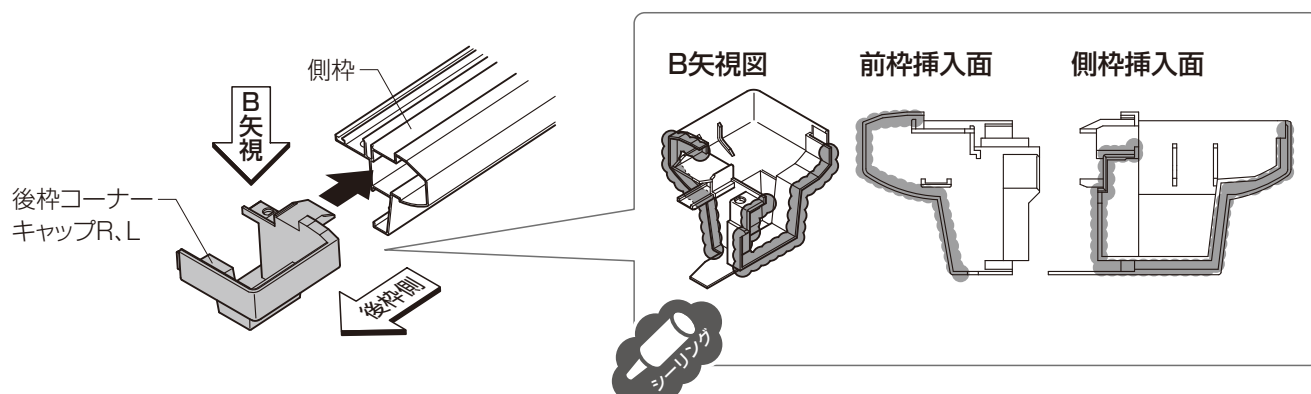
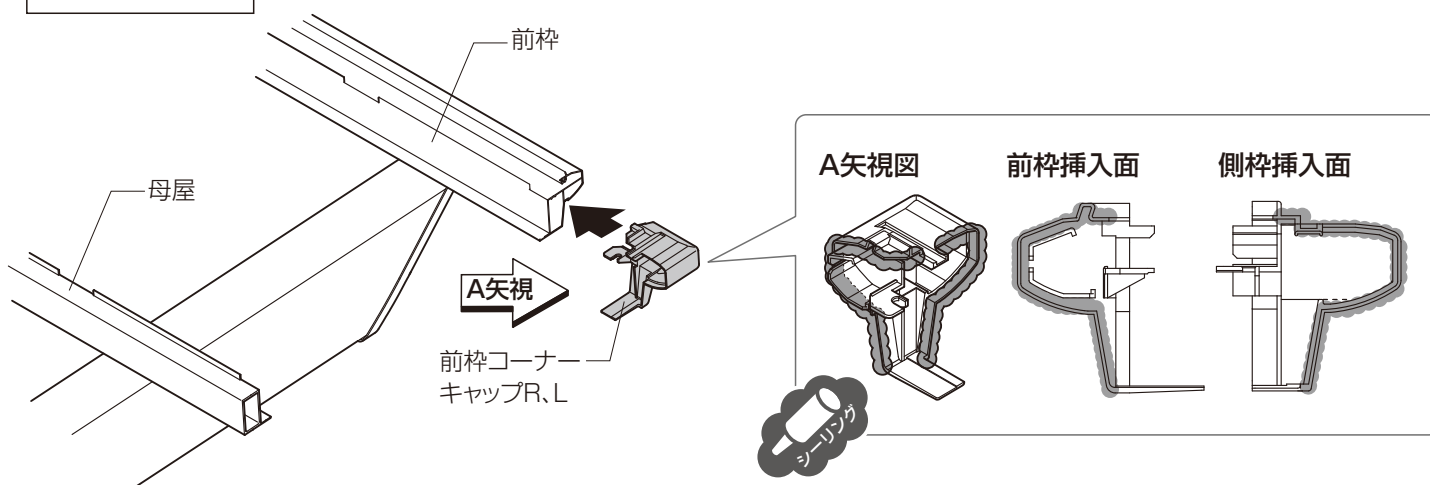
- ①後枠コーナーキャップの図の部分切断してください。



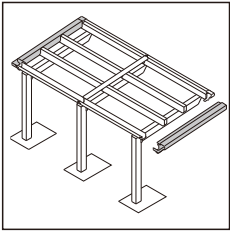
2 コーナーキャップの取付け



- ①前枠コーナーキャップ、後枠コーナーキャップにシーリングしてください。
②前枠コーナーキャップを前枠にはめ込んでください。
③後枠コーナーキャップを側枠にはめ込んでください。



3 側枠の取付け



- ①後枠の端部内側にシーリング材を充填してください。
- ②側枠を前枠コーナーキャップに差込み、前枠のV溝に【9-4】で、前枠と側枠とを仮止めしてください。
- ③後枠コーナーキャップを後枠に差込み、後枠のV溝に【9-4】で取付けてください。
- ④側枠を母屋のV溝に【9-4】で取付けてください。
- ⑤後枠端部の切欠き部と側枠の接合部にシーリングをしてください。

補 足

前枠と側枠に屋根押え用ビードのズレ防止用養生テープが貼付いている場合は、テープをはがしてください。

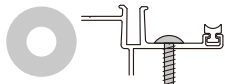
お 願 い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。

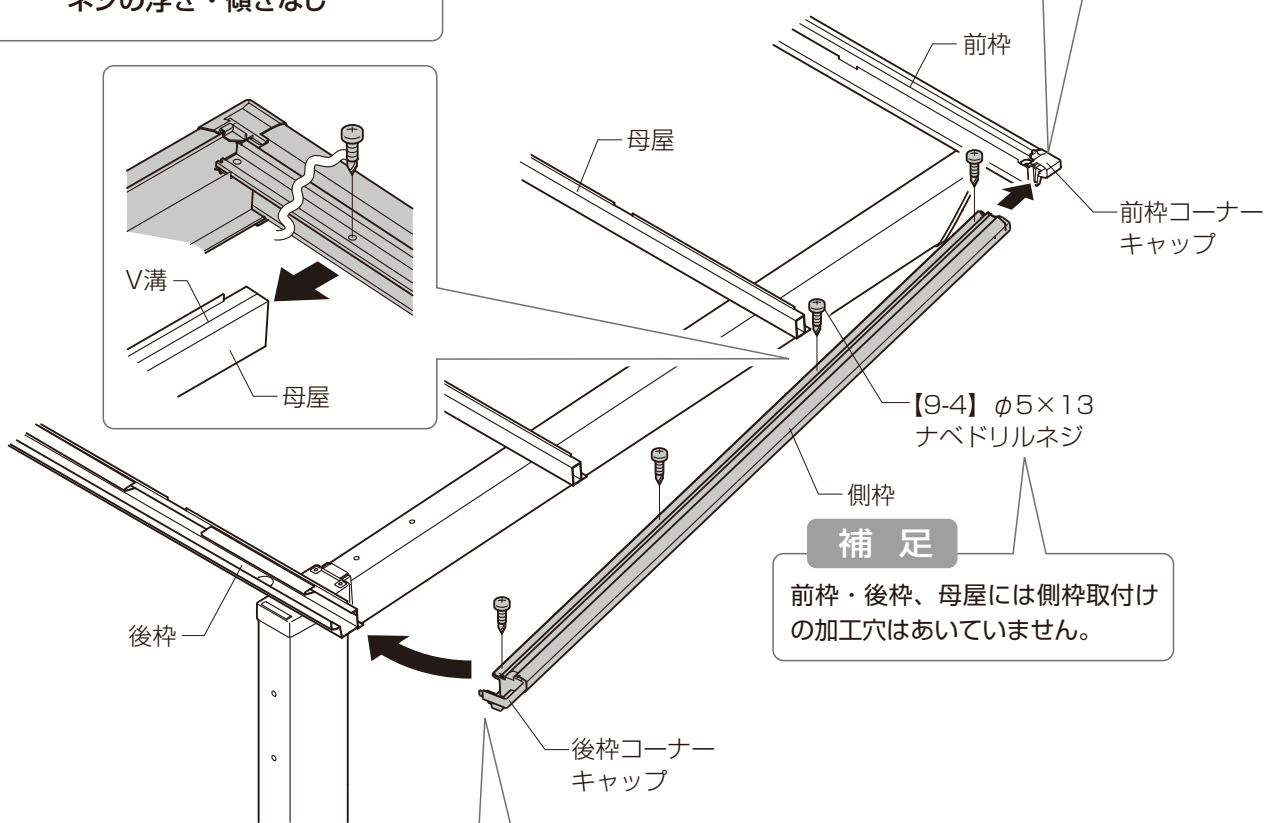
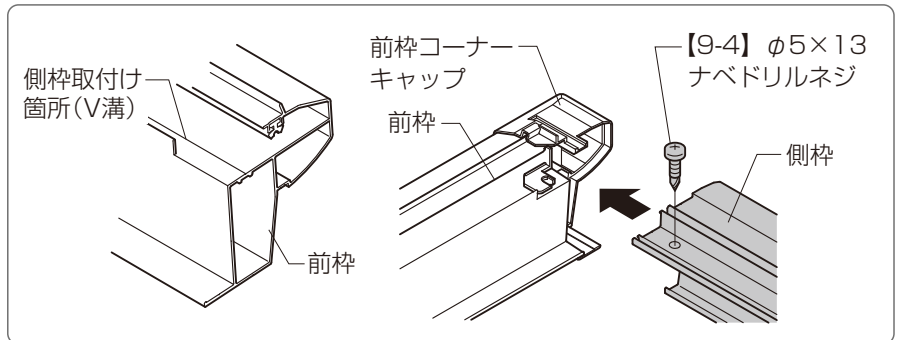


ネジの浮き

ネジの傾き

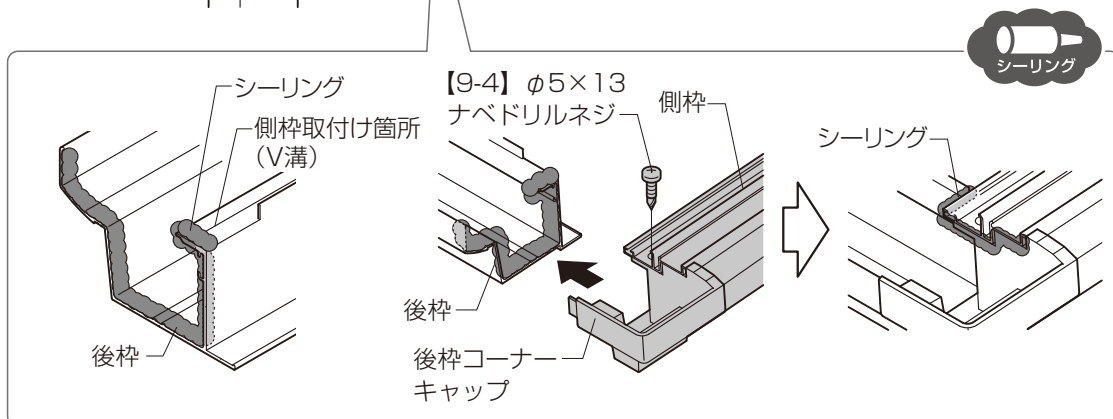


ネジの浮き・傾きなし

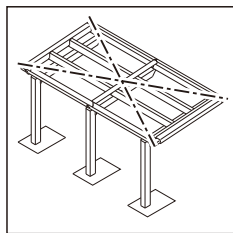


補 足

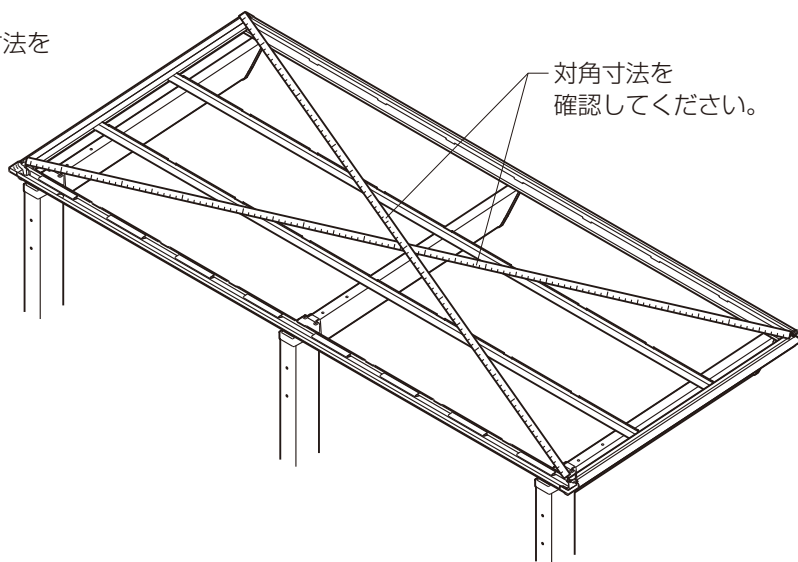
前枠・後枠、母屋には側枠取付けの加工穴はあいていません。



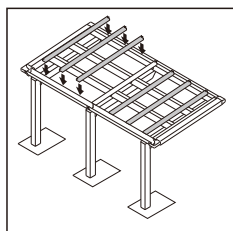
9 対角の確認



①屋根枠まわりの対角寸法を
そろえてください。



10 垂木の取付け



- ①後枠の切欠き部にシーリングをしてください。
- ②垂木を前枠・後枠・母屋に【9-4】で取付けてください。

お願い

取付け時に付着した切粉などは
取除いてください。

お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



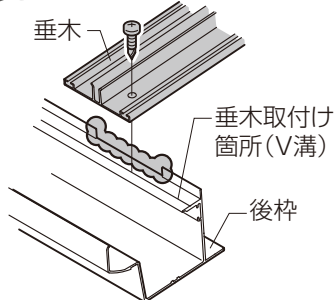
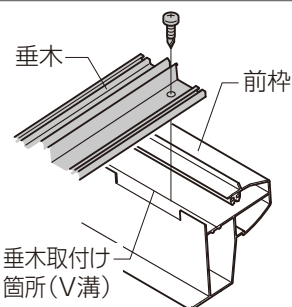
ネジの浮き



ネジの傾き

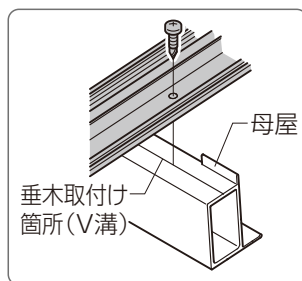


ネジの浮き・傾きなし

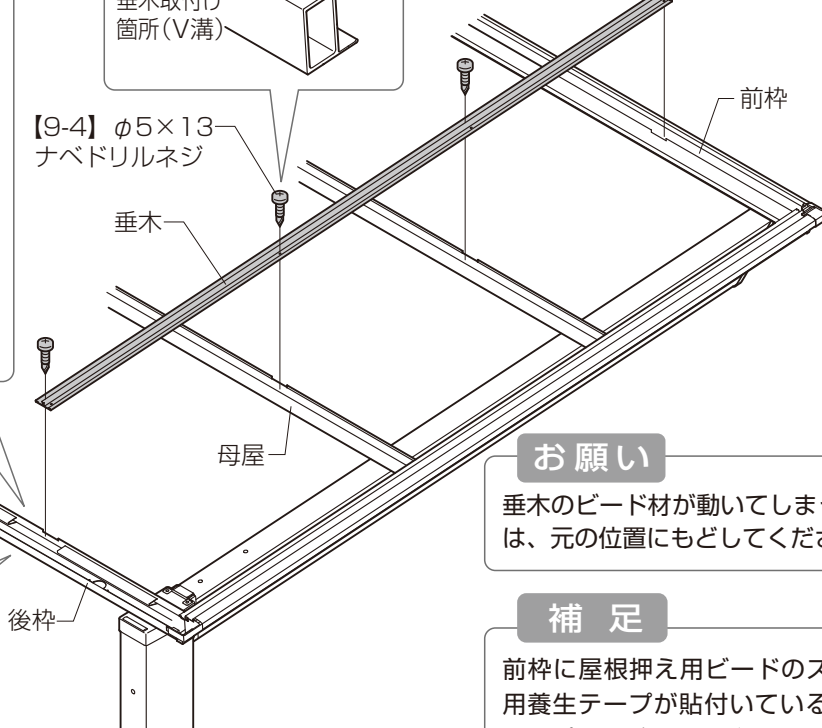


お願い

後枠切欠き部のシーリング材が屋根
内側にはみ出した場合は、拭き取っ
てください。



【9-4】φ5×13
ナベドリルネジ



お願い

垂木のビード材が動いてしまった場合
は、元の位置にもどしてください。

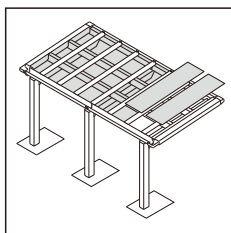
補足

前枠・後枠、母屋には
側枠取付けの加工穴は
あいていません。

補足

前枠に屋根押え用ビードのズレ防止
用養生テープが貼付いている場合は、
テープをはがしてください。

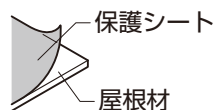
11 屋根材の取付け



①屋根材を前枠のカバー部に差込み、後枠のパネル受けに差込んでください。

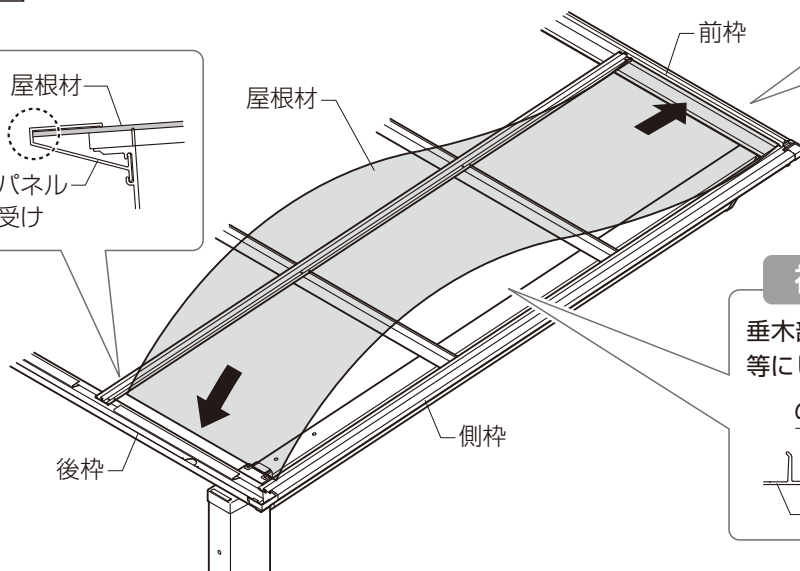
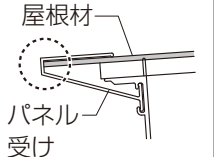
お願い

屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。



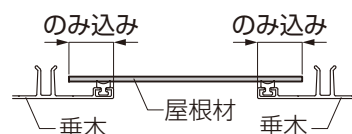
お願い

屋根材はパネル
受けに突き当て
てください。

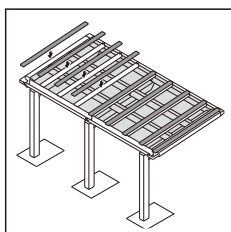


補 足

垂木部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。



12 側枠カバー・垂木カバーの取付け



- ①垂木カバー・側枠カバーを垂木・側枠に【9-3】で取付けてください。
- ②垂木カバー・側枠カバーの前枠の突き当て部にシーリングをしてください。

お願い

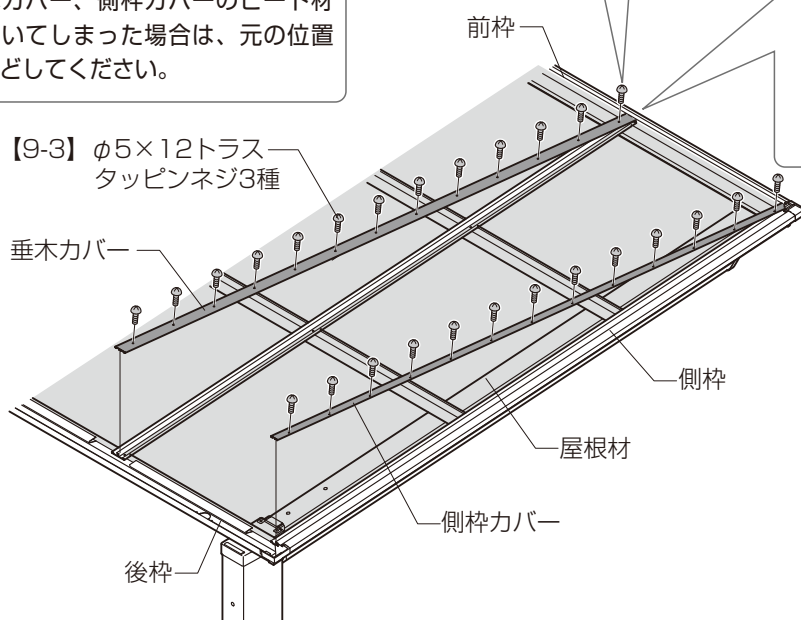
垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。



お願い

垂木カバー、側枠カバーのビート材が動いてしまった場合は、元の位置にもどしてください。

【9-3】 $\phi 5 \times 12$ トラステー
タッピンネジ3種



お願い

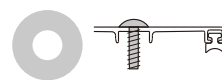
ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



ネジの浮き



ネジの傾き

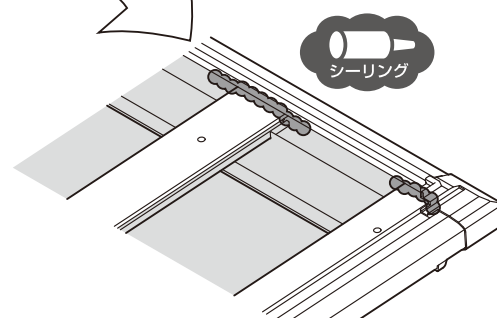
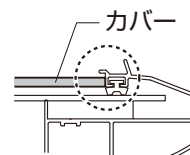
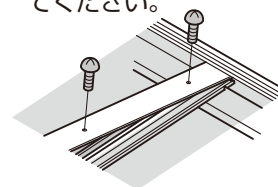


ネジの
浮き・傾きなし

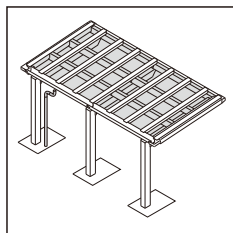
お願い

【取付ける際は】

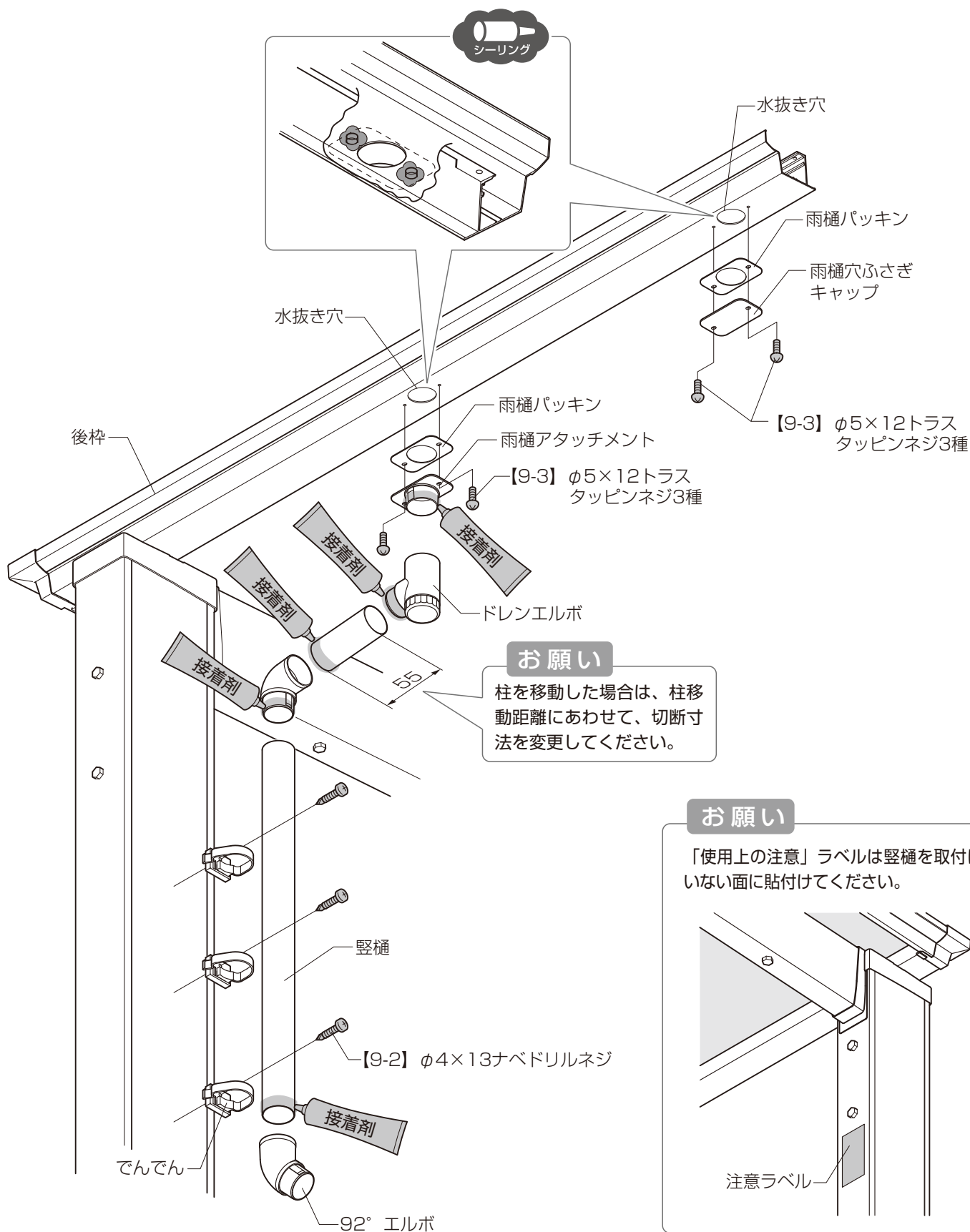
- ・前枠側から取付けてください。
- ・前枠に突き当てて取付けてください。



13 縦樋の取付け



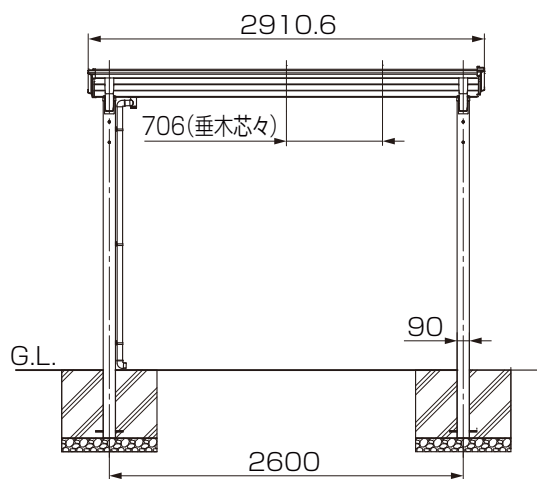
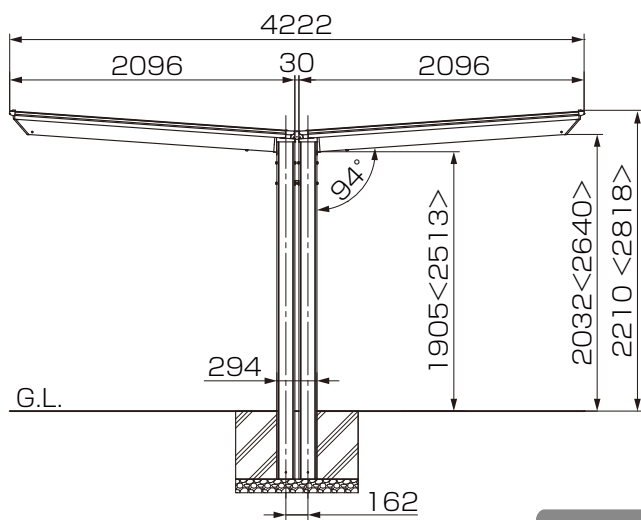
- ① 縦樋を切断してください。
- ② 後枠の一方の水抜き穴に「雨樋パッキン」「雨樋アタッチメント」を【9-3】で取付けてください。
- ③ 柱に「でんでん」を【9-2】で取付けてください。
- ④ 「ドレンエルボ」「縦樋」「92° エルボ」を接着剤で取付けてください。
- ⑤ 使用しない水抜き穴に「雨樋パッキン」「雨樋穴ふさぎキャップ」を取付けてください。
- ⑥ 後枠内のネジ部にシーリングをしてください。
- ⑦ 「使用上の注意」ラベルを柱に貼付けてください。



姿図

□ 側面図 ※<>はロング柱仕様を示します。

□ 単独 28型 正面図



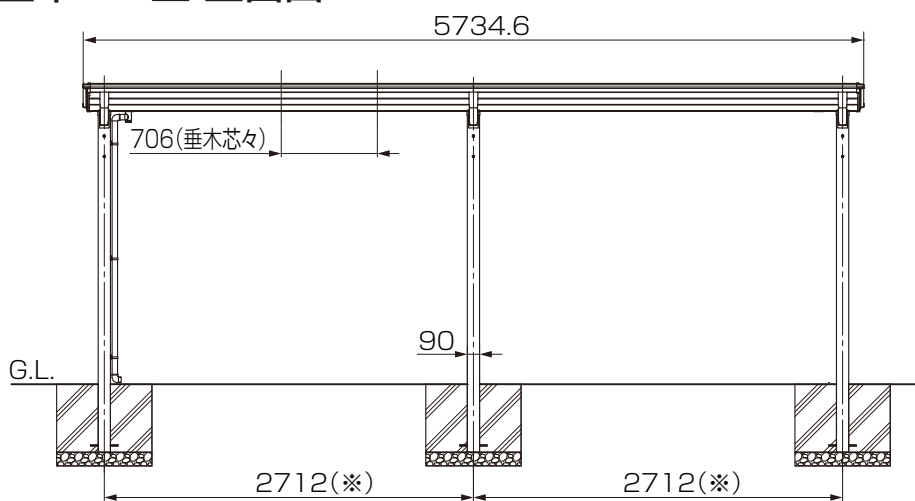
お願い

- ・単独28型は屋根の切詰めはできません。
- ・屋根の切詰め加工は連結部で行ないます。



P.15を参照してください。

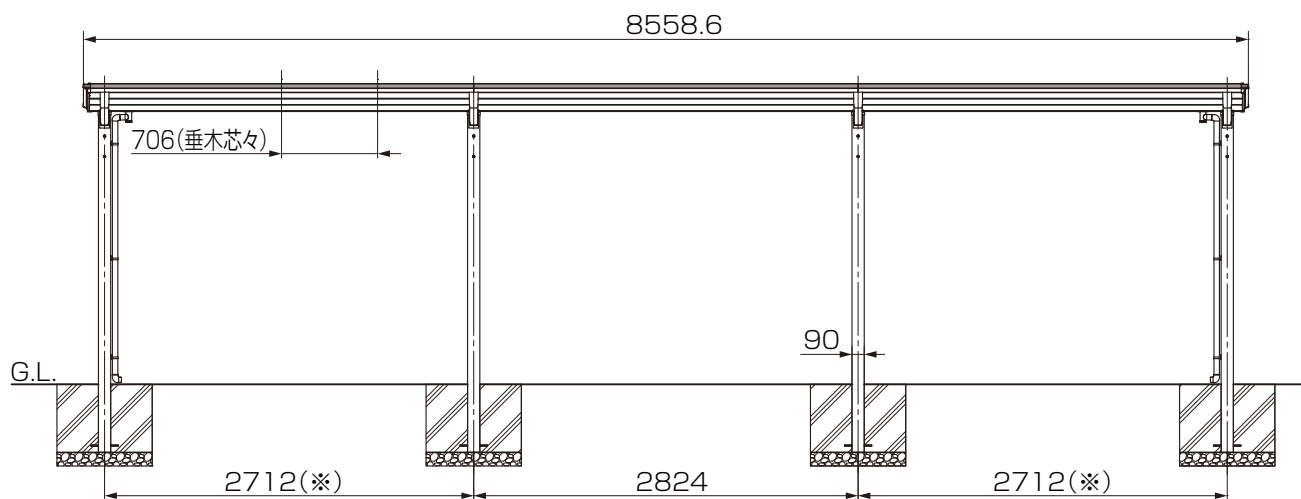
□ 基本 57型 正面図



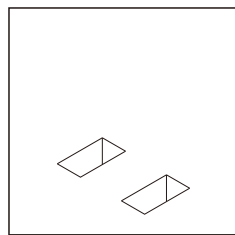
補 足

屋根を切詰めた場合は、柱ピッチ(※)が変わります。

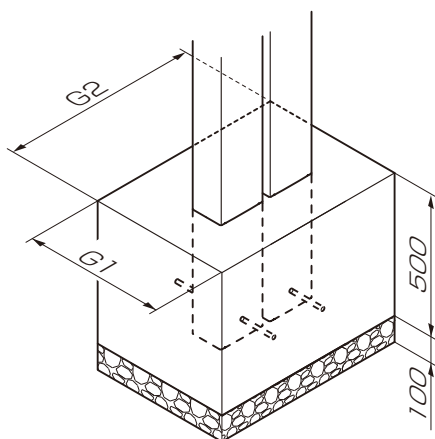
□ 連棟 57+ (28×1) 型 正面図



1 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

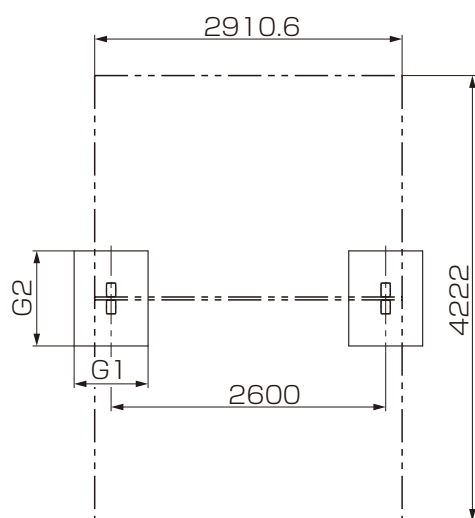


		G1	G2
標準柱	単独28型	700	900
	基本57型・連棟	800	1400
ロング柱	単独28型	700	1000
	基本57型・連棟	800	1500

補 足

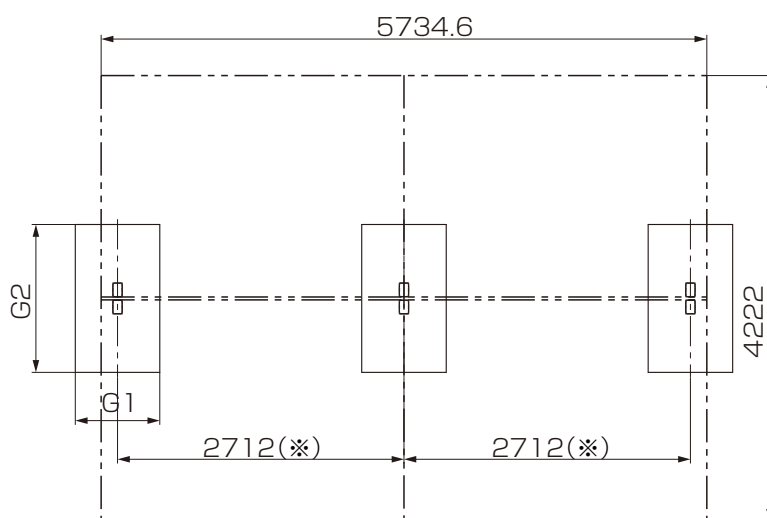
基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/㎡の時の参考寸法です。

□ 単独28型



サイクルポート
本体外線

□ 基本57型



サイクルポート
本体外線

お 願 い

- ・単独28型は屋根の切詰めはできません。
- ・屋根の切詰め加工は連結部で行ないます。

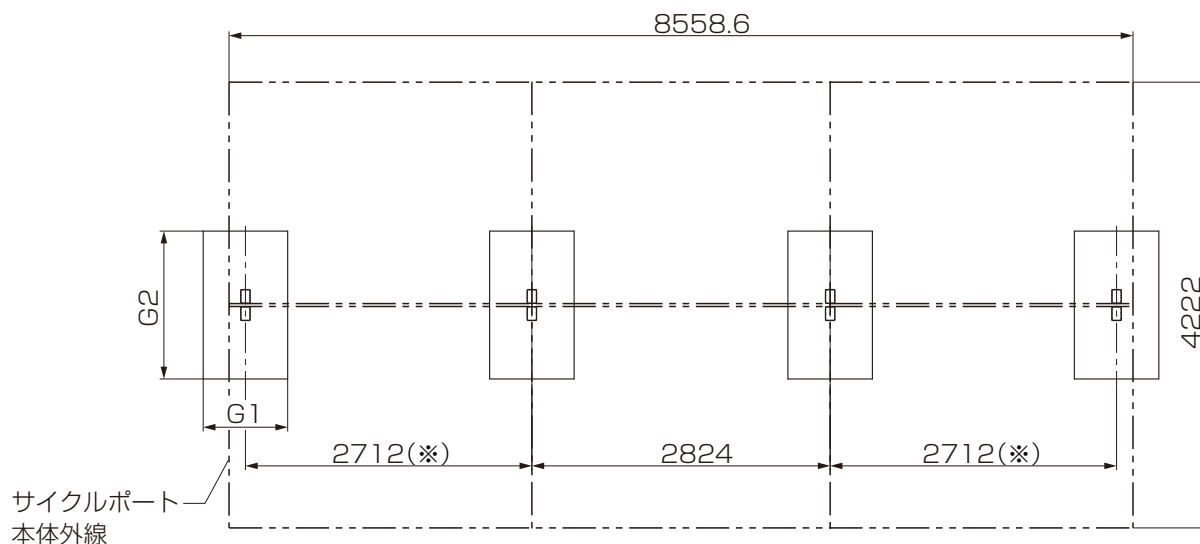


P.15を参照してください。

補 足

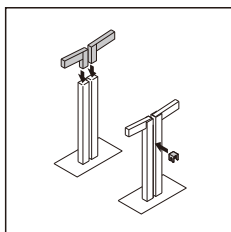
屋根を切詰めた場合は、柱ピッチ(※)が変わります。

□ 連棟57+ (28×1) 型



サイクルポート
本体外線

2 柱連結金具の取付け



- ① ブラケットを柱に差込み、【9-1】で仮止めしてください。
- ② Y合掌用柱連結金具を、柱と【9-1】のすき間に差込み、本固定してください。

補 足

【合掌部以外の取付けは】

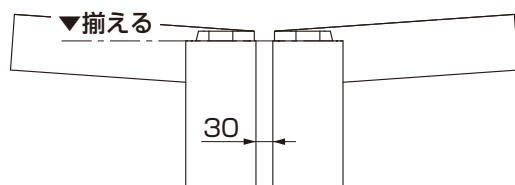
「■基本タイプの施工」を参照してください。

お 願 い

緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。
(締付け後、約24時間で硬化します。)

お 願 い

- ・ 柱と柱のすき間は30mmにしてください。
- ・ 柱の上面は同一高さにしてください。



【9-1】 M8×20六角ボルト
PW (緩み止め付)
※仮止め

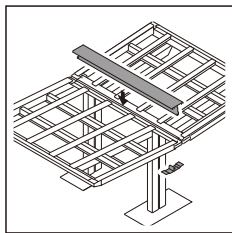
Y合掌用柱連結金具

お 願 い

下側のボルトに取付けてください。

【9-1】 M8×20六角ボルト
PW (緩み止め付)
※本固定

3 合掌棟木の取付け



補 足

「基本的施工 10 垂木の取付け」の後に本手順を行ってください。

- ① Y合掌棟木を後杵と後杵の間に差込んでください。
- ② Y合掌固定金具を【12-2】で固定してください。

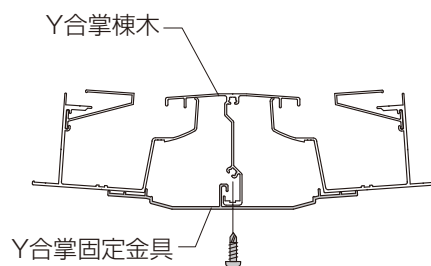
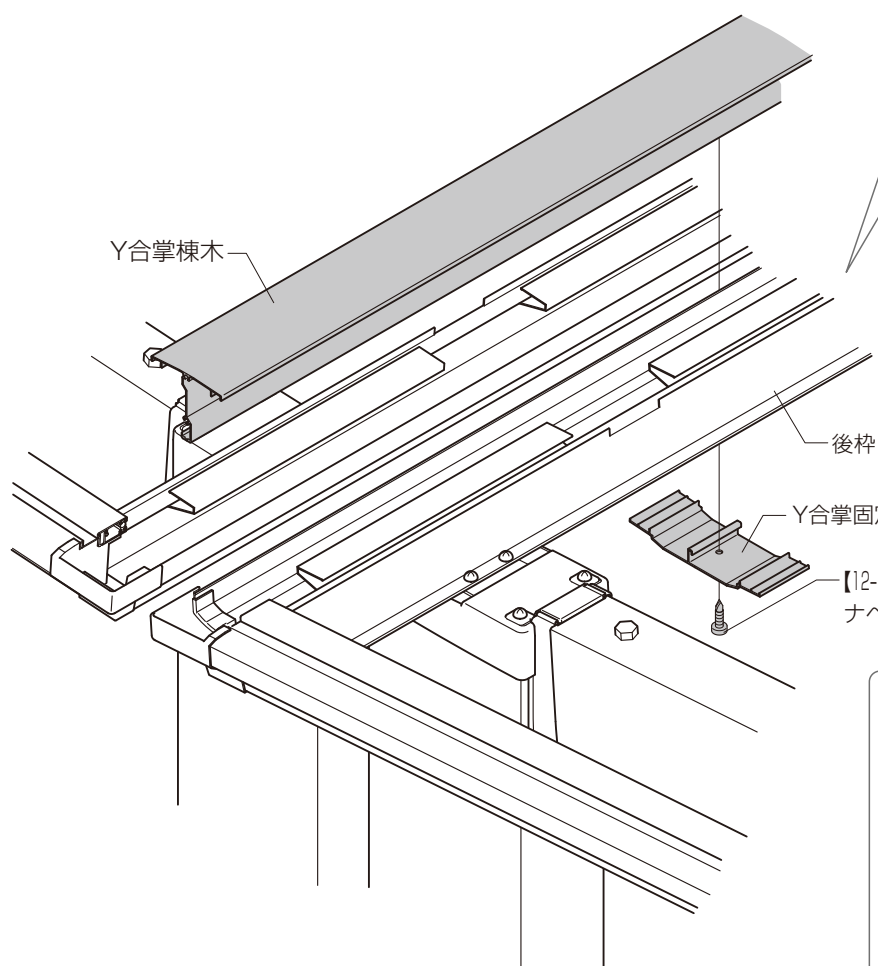
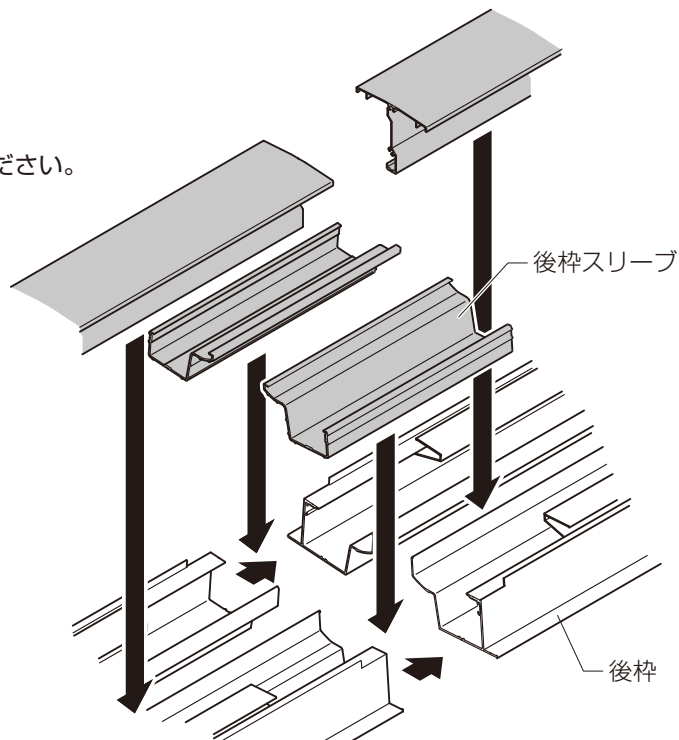


【縦連棟】の場合の作業です。

後杵スリーブで後杵同士を連結してください。



P.13も併せて確認してください。

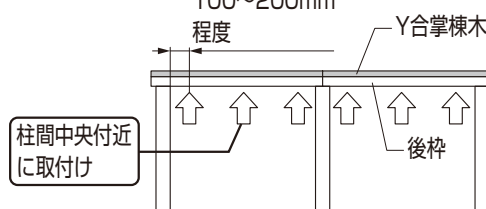


【12-2】 $\phi 4 \times 13$
ナベドリルネジ

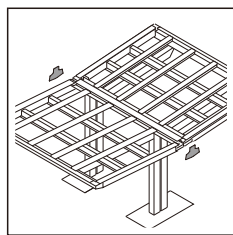
お願い

Y合掌固定金具は柱間に3箇所取付けてください。

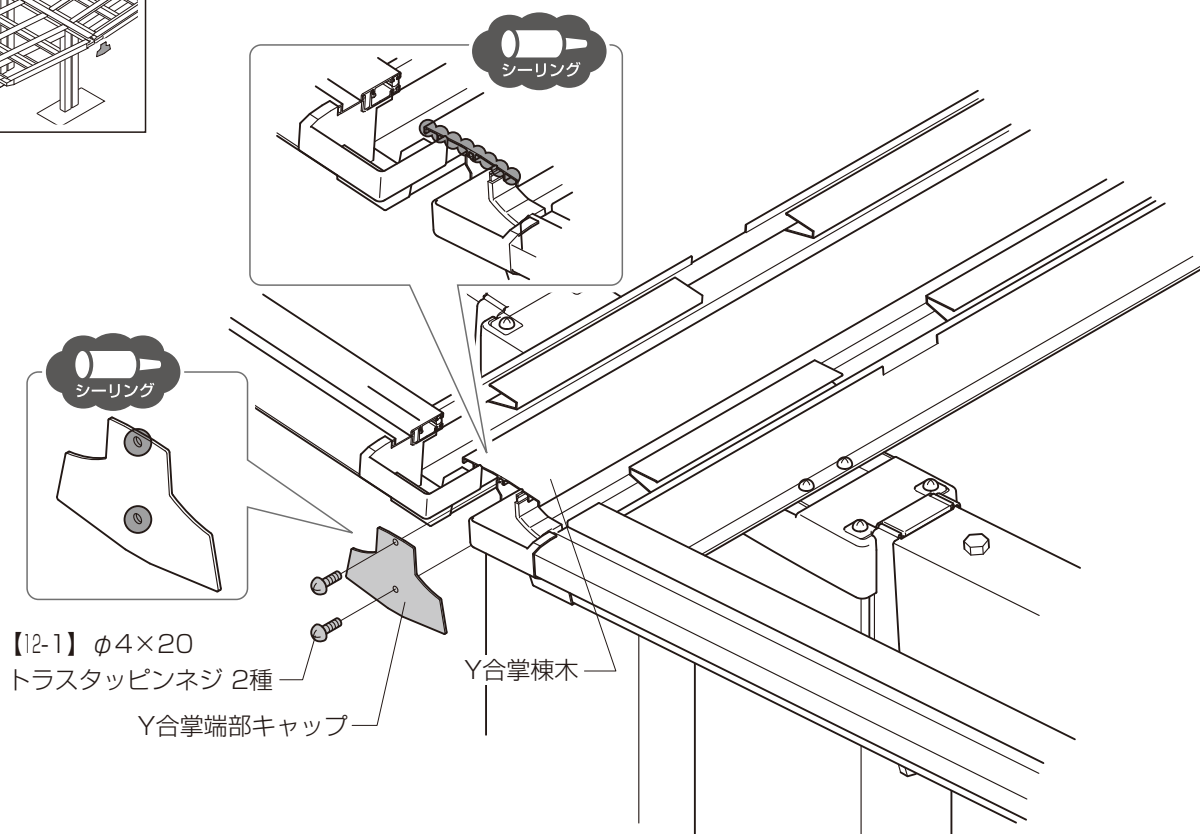
100~200mm
程度



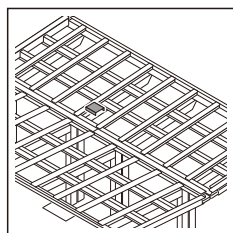
4 Y合掌端部キャップの取付け



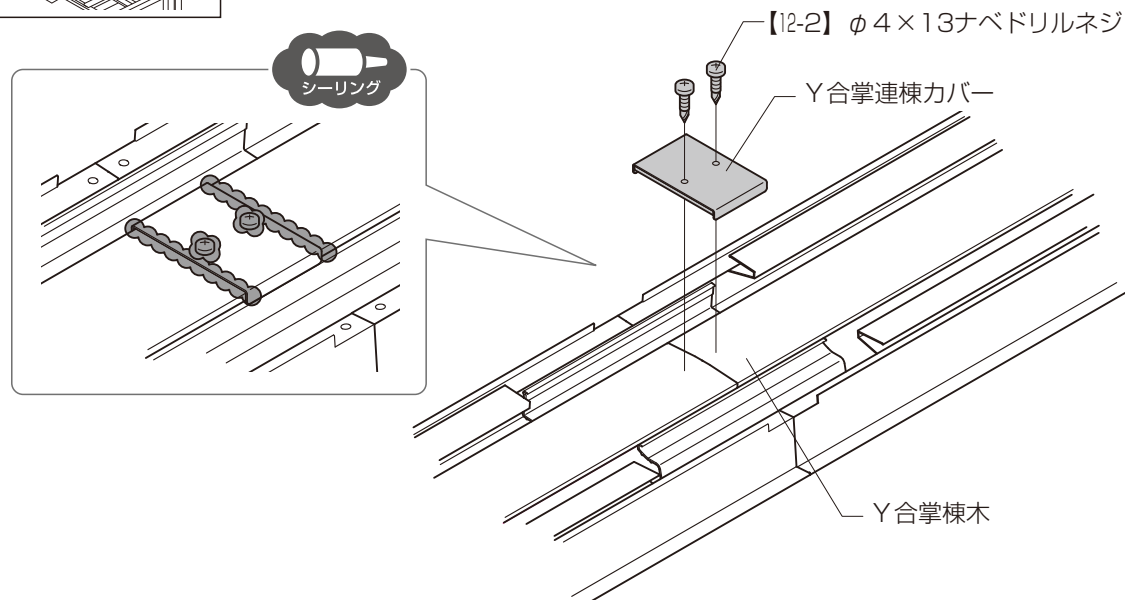
- ①Y合掌端部キャップ及びY合掌棟木にシーリングしてください。
- ③Y合掌端部キャップをY合掌棟木に【12-1】で取付けてください。



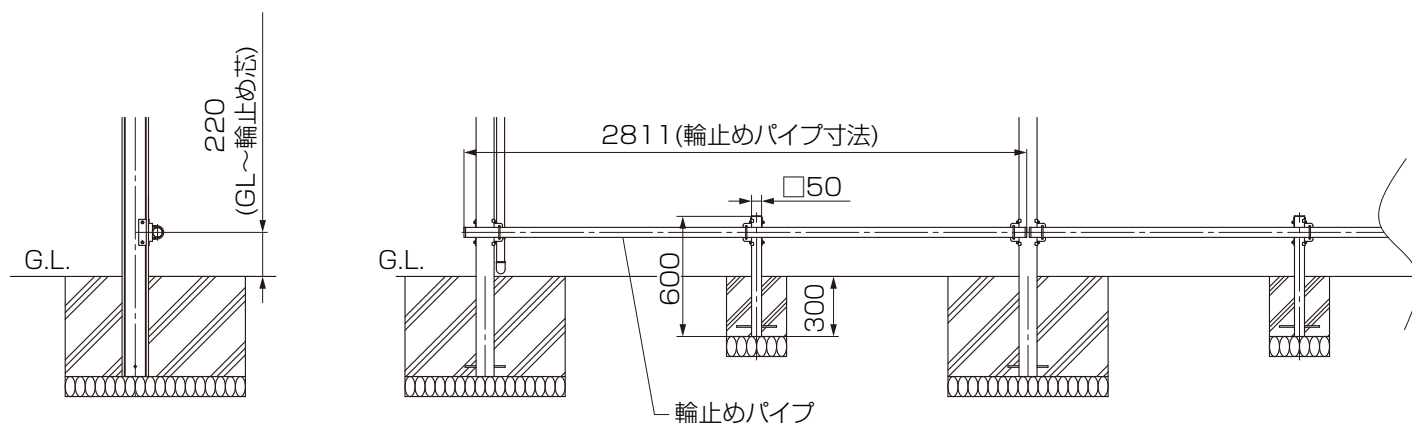
5 Y合掌連棟カバーの取付け ※単独 28型の場合、この作業は不要です。



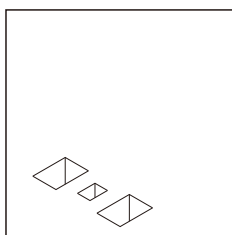
- ①Y合掌連棟カバーをY合掌棟木に【12-2】で取付けてください。
- ②Y合掌連棟カバーとネジ頭にシーリングしてください。



■ 姿図



1 基礎の墨出し

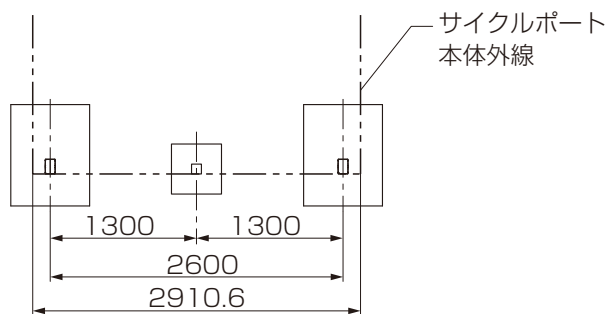
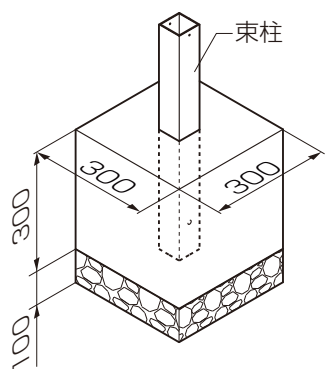


①束柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

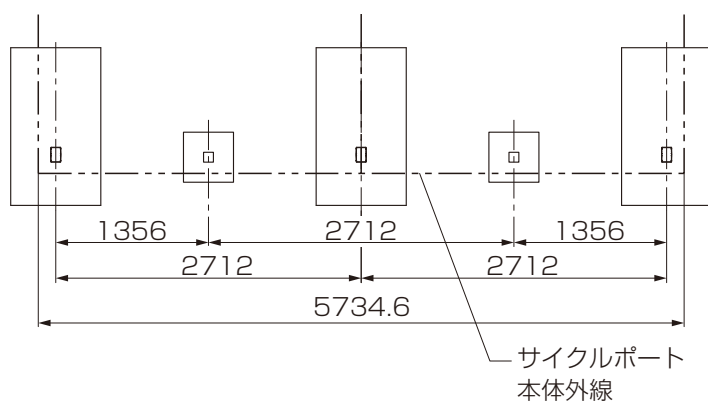
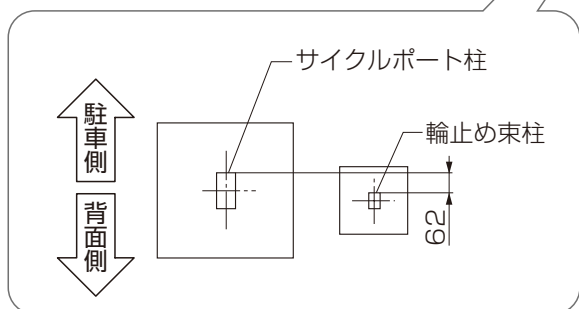
補 足

束柱の移動は±100mm以内です。

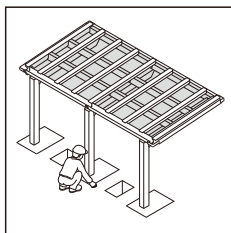
□ 単独28型



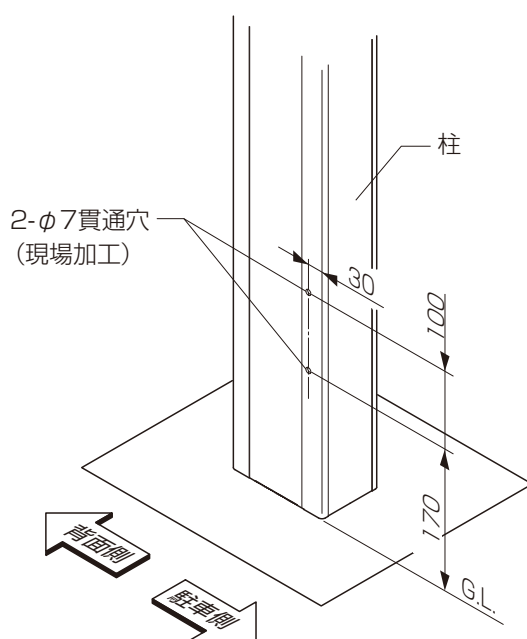
□ 基本57型



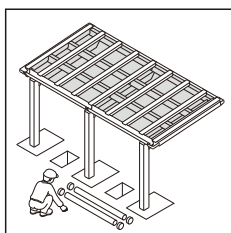
2 取付け下穴寸法



①柱へφ7の下穴をあけてください。（束柱の取付け穴は加工済みで出荷されます。）



3 輪止めパイプキャップの取付け



①輪止めパイプに輪止めパイプキャップを接着剤で取付けてください。

補 足

市販の接着剤を使用する場合は、塩ビ用接着剤または瞬間接着剤もしくはエポキシ系接着剤を使用してください。

お願い

キャップの脱落・紛失防止のため、必ず接着剤を使用してください。

接着剤

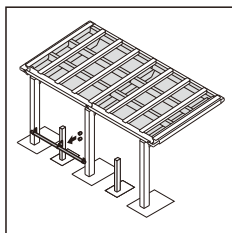
輪止めパイプ

プラスチックハンマー等
輪止めパイプキャップ

お願い

キャップの破損を防ぐために、プラスチックハンマー等を使用してください。

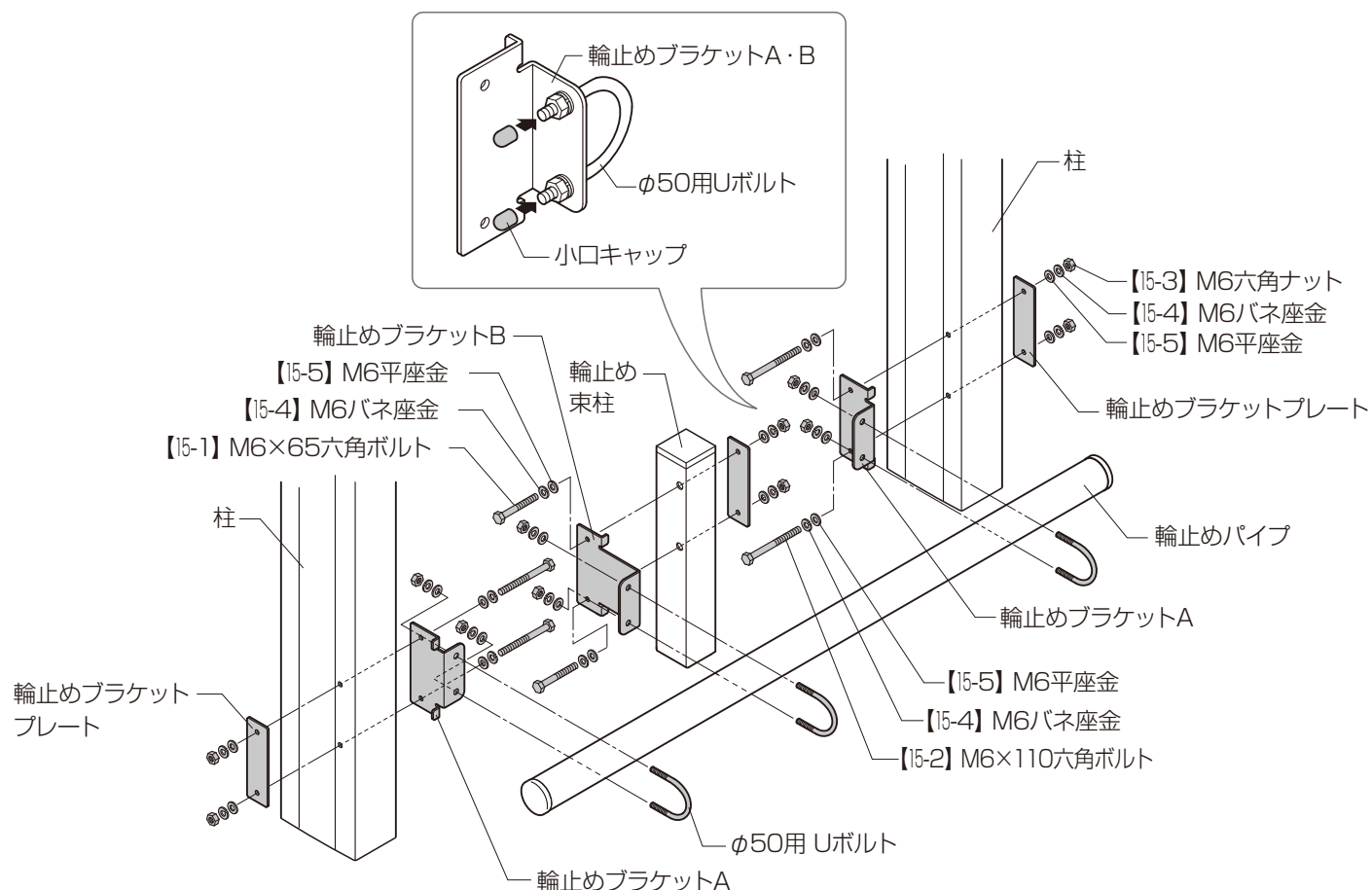
4 輪止めパイプ、小口キャップの取付け



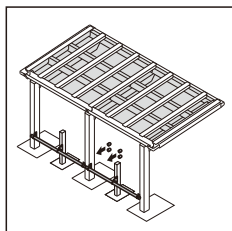
- ①柱に、輪止めブラケットAと輪止めブラケットプレートを【15-2】～【15-5】で取付けてください。
- ②輪止め束柱に、輪止めブラケットBと輪止めブラケットプレートを【15-1】、【15-3】～【15-5】で取付けてください。
- ③輪止めブラケットA・Bに輪止めパイプを、 $\phi 50$ 用Uボルトと【15-3】～【15-5】で固定してください。
- ④ $\phi 50$ 用Uボルトの先端に、小口キャップを取付けてください。

⚠ 注意

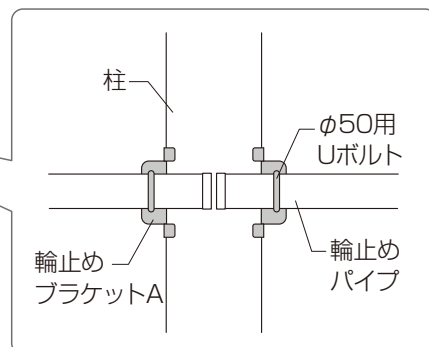
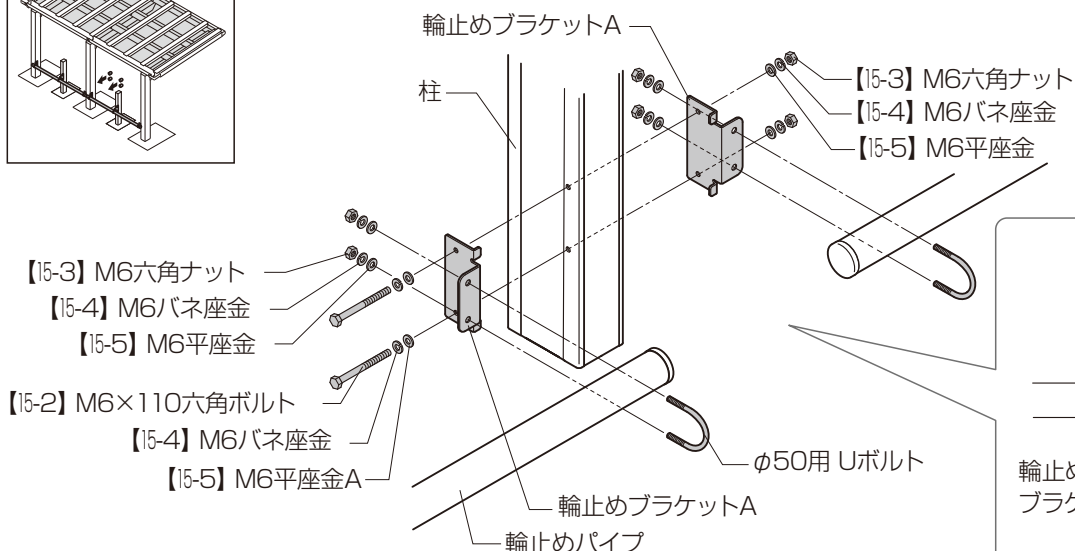
使用者がケガをするおそれがありますので、小口キャップは必ず取付けてください。



5 連棟部の組立て



- ①柱に、輪止めブラケットAおよび輪止めパイプを固定してください。



構造図

補 足

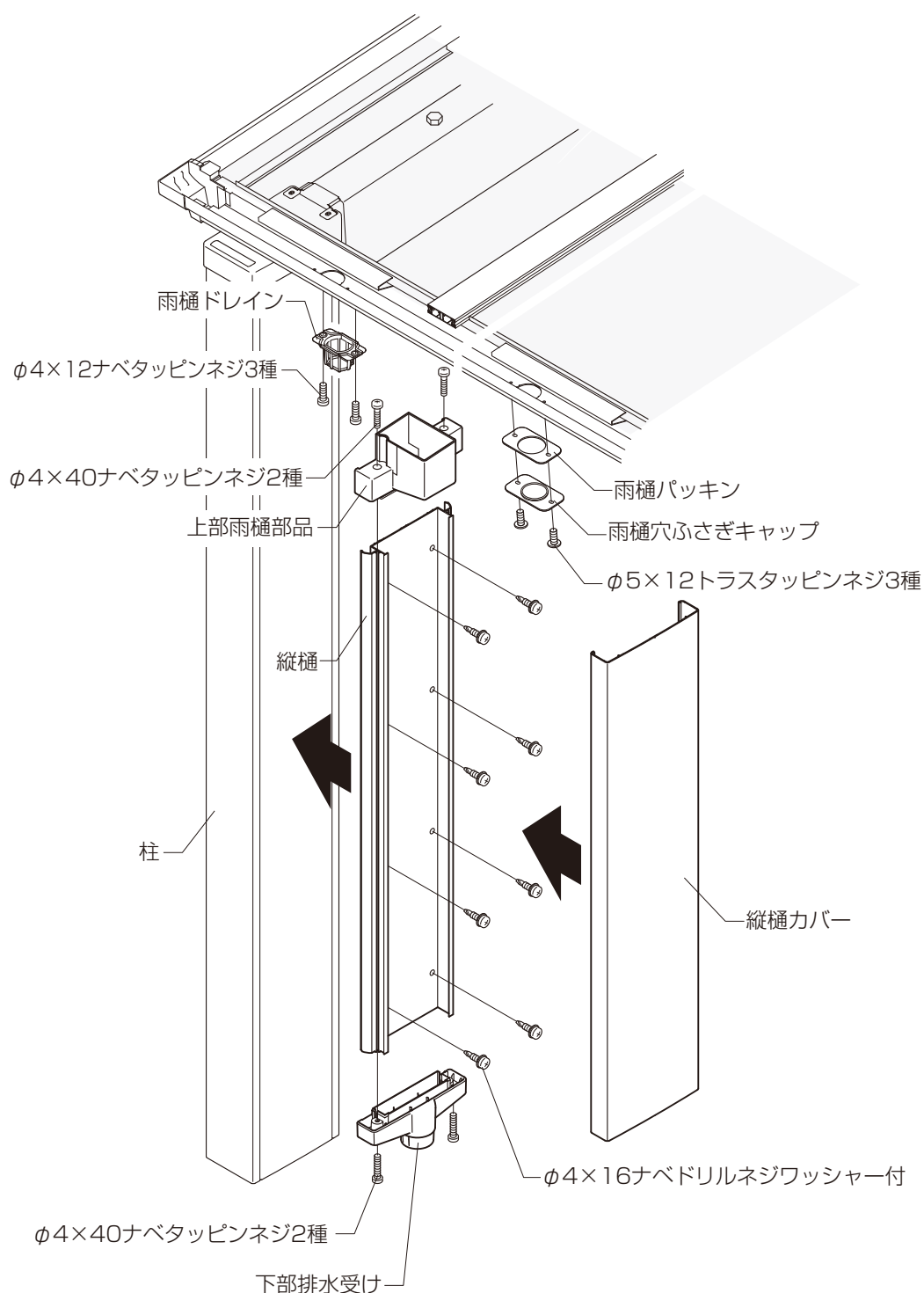
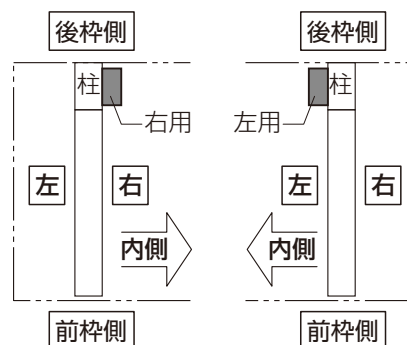
本製品は「柱の内側」に取付けます。

前枠側から見て

柱の右側に取付ける場合：右用

柱の左側に取付ける場合：左用

となります。

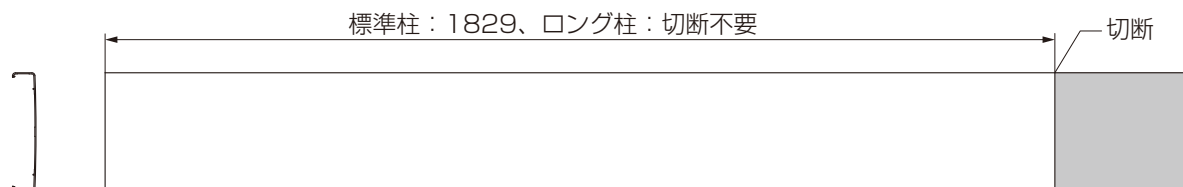


1 部材の加工

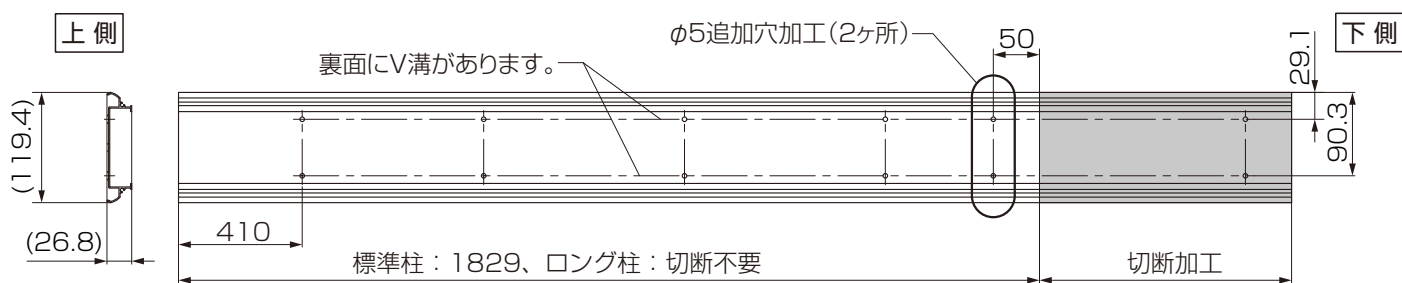
補 足

本取付説明書は「左用」を示しています。「右用」は対称の加工になります。

縦樋力バー



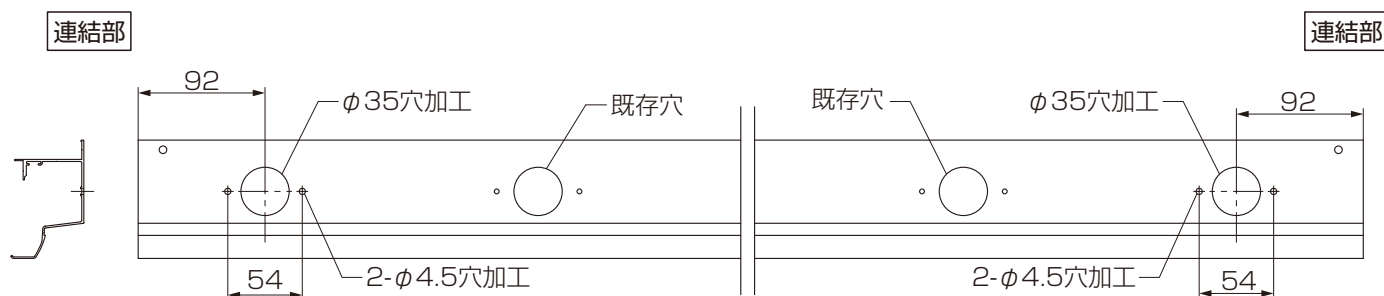
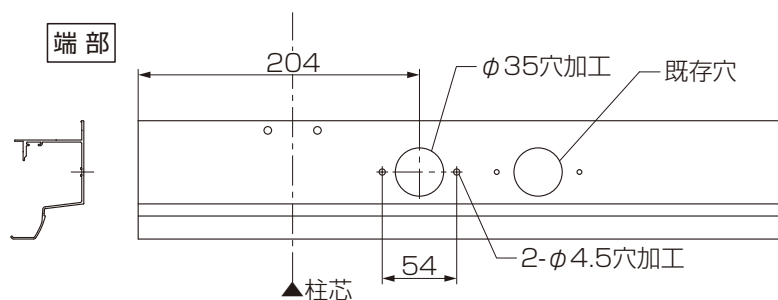
縦樋



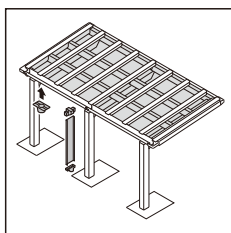
補 足

後枠

「屋根を現場切詰め」した場合、切詰めた側にはスマート雨樋を取付けできません。



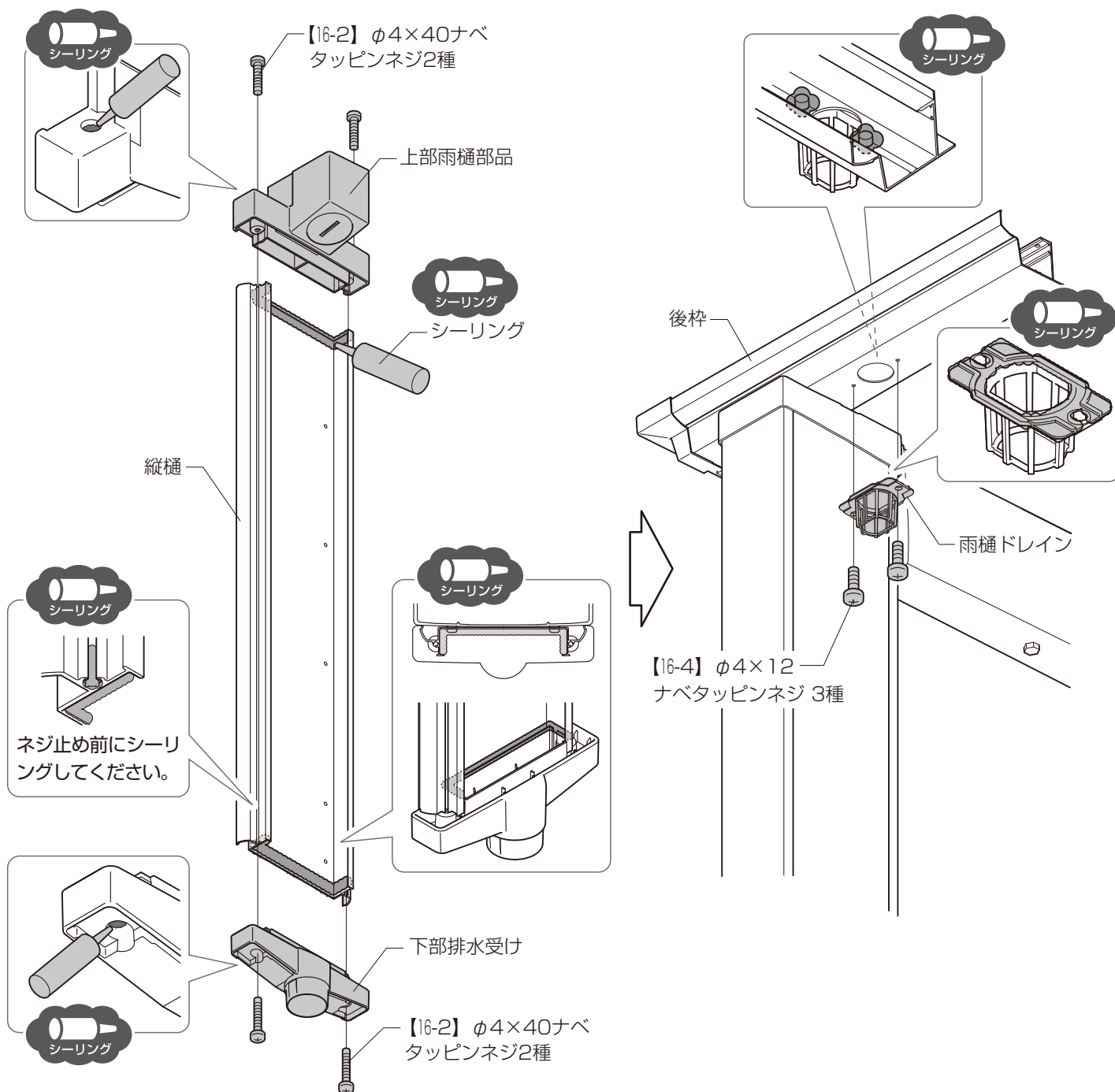
2 縦樋の組立て



- ①上部雨樋部品、下部雨樋部品を縦樋に【16-2】で取付けてください。
- ②雨樋ドレインを後枠に【16-4】で取付けてください。

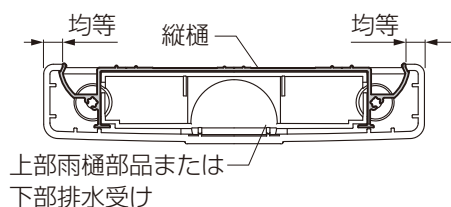
お願い

指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

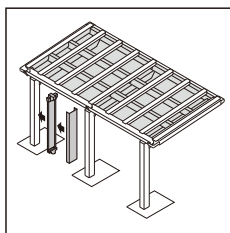


お願い

上部雨樋部品と下
部排水受けは縦樋
に左右均等に取付
けてください。



3 縦樋の取付け



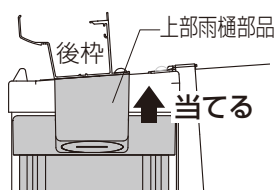
- ①組立てた縦樋を柱に【16-1】で取付けてください。
- ②縦樋力バーを縦樋にはめ込んでください。

お願い

指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

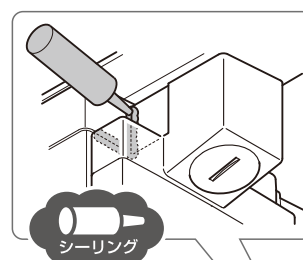
お願い

上部雨樋部品を後枠に当てて固定してください。



補足

上部雨樋部品や下部排水受けに干渉し、縦樋力バーがはめ込みづらい場合は、縦樋力バーを切断して取付けてください。



上部雨樋部品

柱キャップ

上部雨樋部品

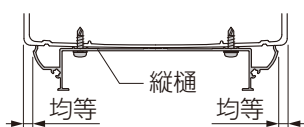
縦樋

縦樋力バー

シーリング

お願い

左右均等に取付けてください。



【16-1】φ4×16
ナベドリルネジ
ワッシャー付

下部排水受け

92° エルボ

接着剤

取説コード

E411

JZZ630632
201505A_1039